

# 平成28年度 青葉区区民意識調査結果報告書

—概要版—

## 調査概要

調査の目的	青葉区にお住まいの皆さまの生活意識や区政に対する満足度、要望等を的確に把握し、今後の区政運営に活かしていくことを目的とする。
調査対象	青葉区内在住の16歳以上の男女3,000人（うち外国人60人）
抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出
調査方法	郵送によるアンケート方式
回答率	42.5%（有効回答者数1,274人）
調査期間	平成28年7月13日～7月29日
設問分野	生活環境、地域活動・地域社会、定住意向、防災、子ども・子育て支援、広報、読書活動、地域福祉、健康 等
図表の見方	図（グラフ）の中で使用されているアルファベットの意味は次のとおり。 n：その設問に対する回答者数



## 平成28年度 青葉区区民意識調査(概要版)

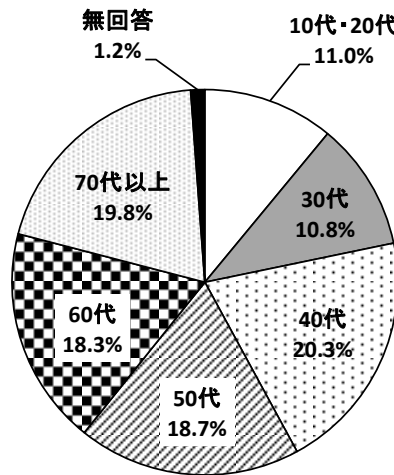
### 目 次

I. 回答者の属性 .....	2
II. 調査結果の概要 .....	8
1. お住まいの周辺の生活環境について .....	8
2. 地域と生活について .....	13
3. 定住意識について .....	17
4. 区・市への愛着について .....	19
5. 青葉区の魅力について .....	20
6. 防災について .....	23
7. 子ども・子育て支援について .....	27
8. 広報について .....	34
9. 読書推進について .....	35
10. 社会貢献活動について .....	38
11. 地域の福祉保健活動について .....	40
12. 健康について .....	42
13. 介護予防について .....	47

## I. 回答者の属性

### 年齢 (F 1)

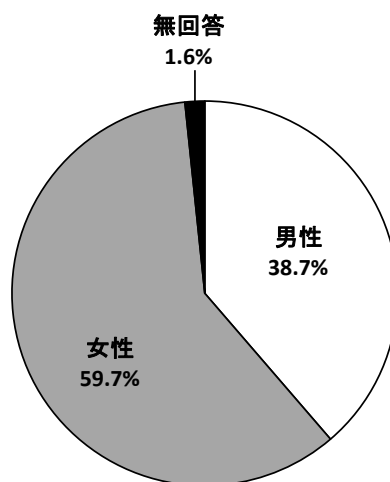
若年層 (30 代以下) 2 割、中年層 (40 代 50 代) 4 割、高年層 (60 代以上) 4 割。



n=1,274

### 性別 (F 2)

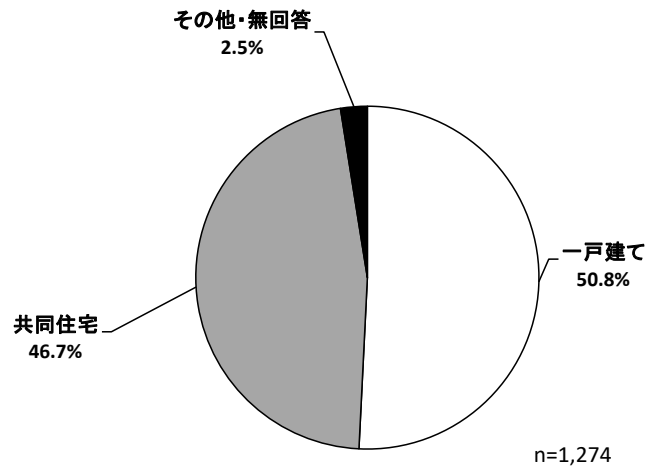
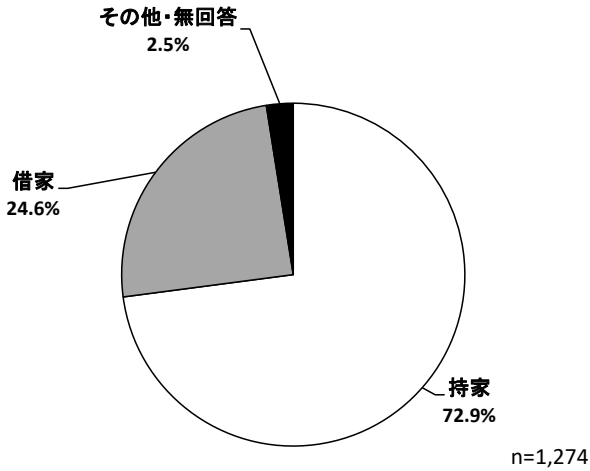
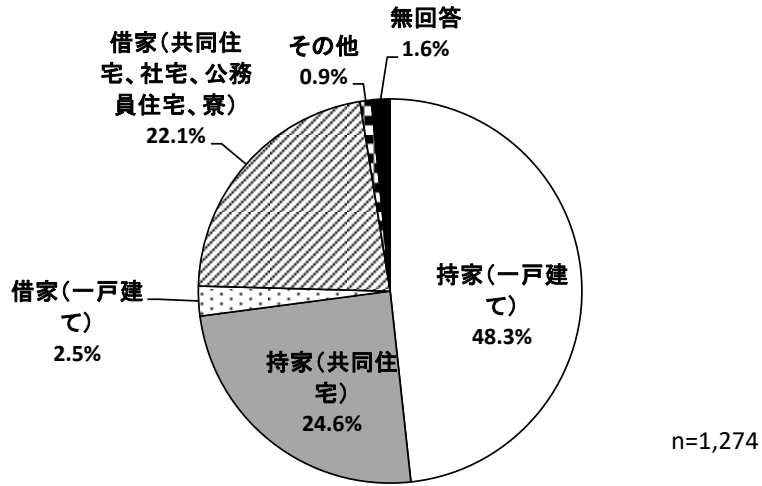
女性が男性より 21.0 ポイント上回っている。



n=1,274

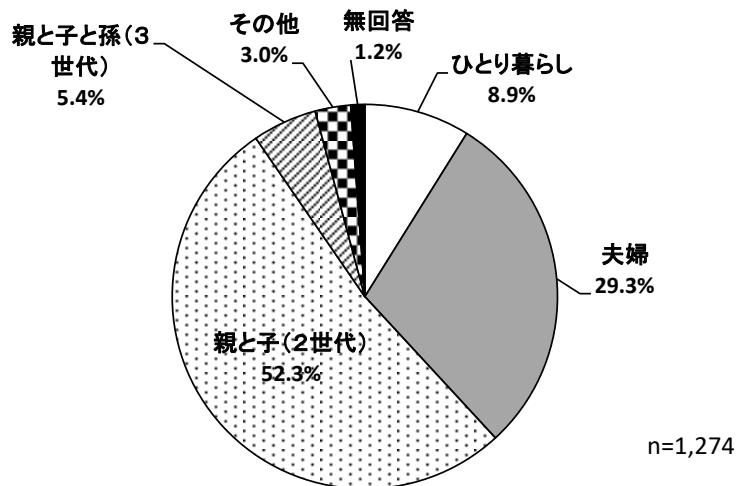
### 居住形態（F3）

「持家（一戸建て）」と「持家（共同住宅）」を合わせると、持家率は7割を超えている。



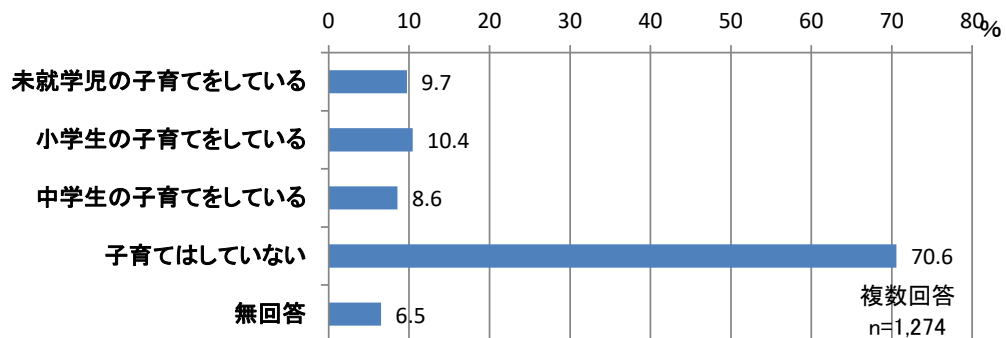
### 家族構成（F4）

「親と子（2世代）」が全体の5割、「夫婦」が3割を占めている。



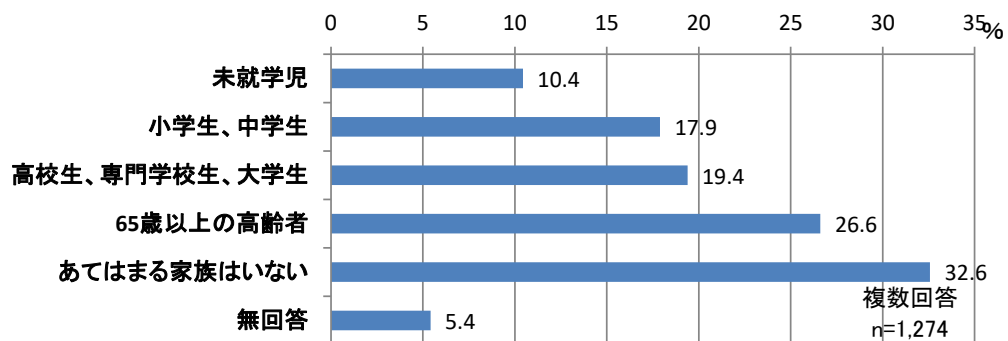
## 子育ての状況（F5）

「子育てをしている」のは全体の4分の1。



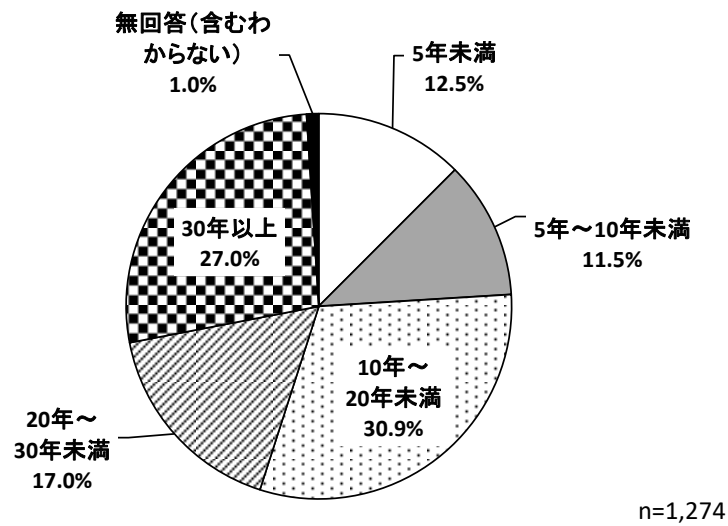
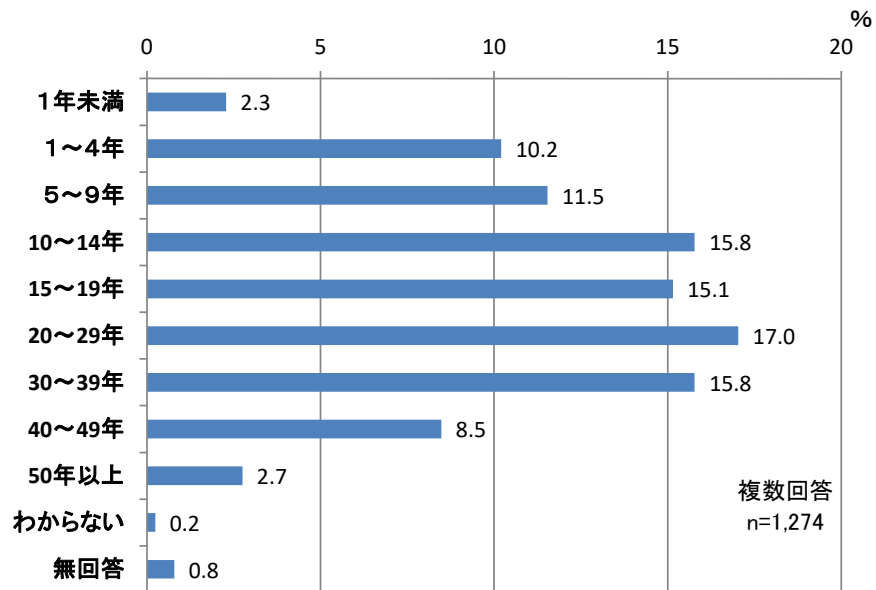
## 同居家族（F6）

「あてはまる家族はいない」を除いて、最も多いのは「65歳以上の高齢者」で全体の4分の1。



## 居住期間（F7）

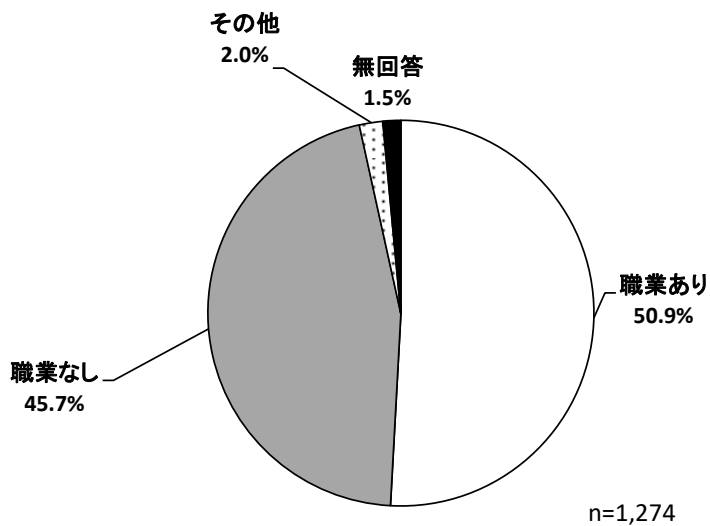
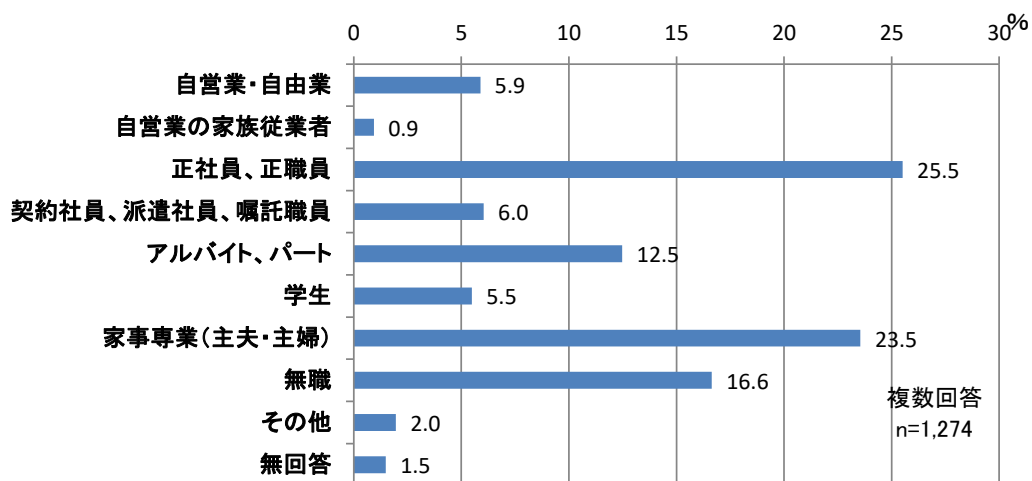
最も多いのは「20～29年」で、15年以上が6割を占める。



## 職業（F8）

最も多いのは「正社員、正職員」で全体の4分の1を占める。次いで「家事専業（主夫・主婦）」、「無職」、「アルバイト、パート」と続く。

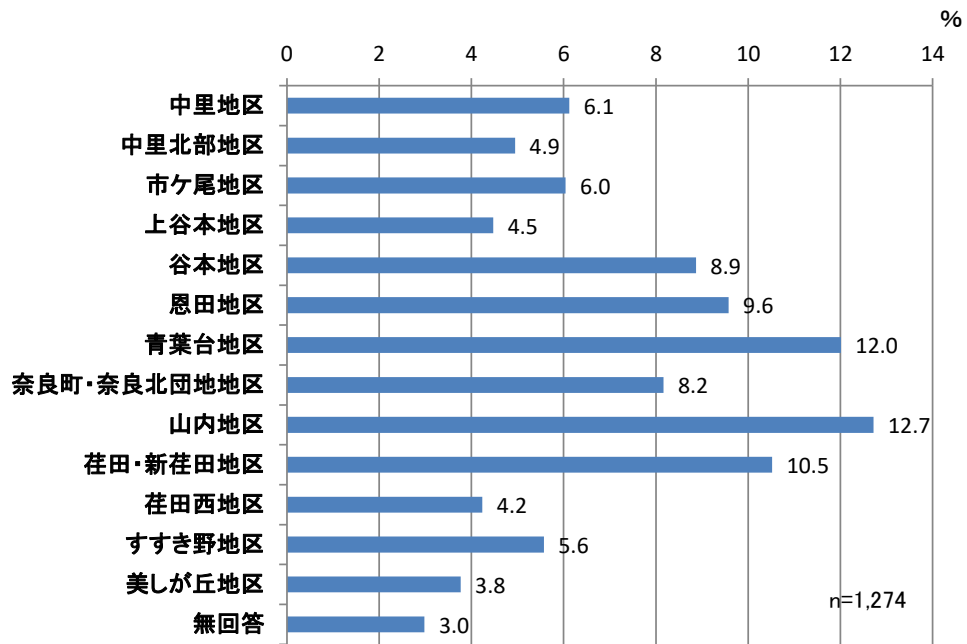
「職業あり」が「職業なし（学生・家事専業・無職）」を5.2ポイント上回っている。





## 居住地区（F9）

「山内地区」「青葉台地区」「荏田・新荏田地区」「恩田地区」が多くなっている。



## 青葉区地区別エリア図

- |        |         |          |
|--------|---------|----------|
| ①中里地区  | ②中里北部地区 | ③市ヶ尾地区   |
| ④上谷本地区 | ⑤谷本地区   | ⑥恩田地区    |
| ⑦青葉台地区 | ⑧奈良町地区  | ⑨奈良北団地地区 |
| ⑩山内地区  | ⑪荏田地区   | ⑫荏田西部地区  |
| ⑬新荏田地区 | ⑭すずき野地区 | ⑮美しが丘地区  |

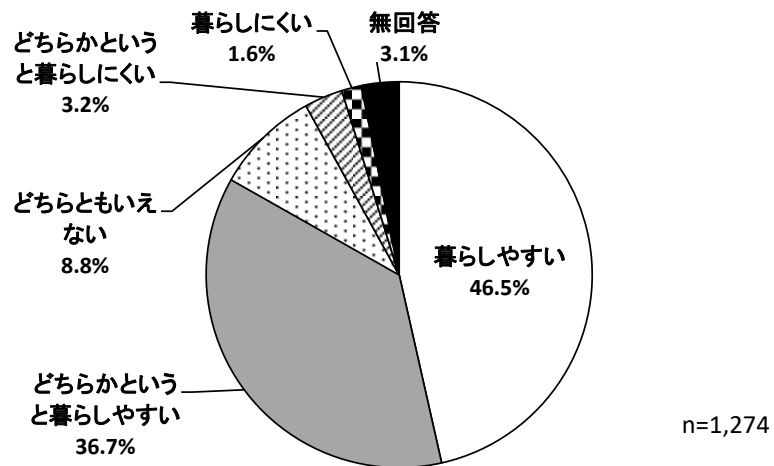


## Ⅱ. 調査結果の概要

### 1. お住まいの周辺の生活環境について

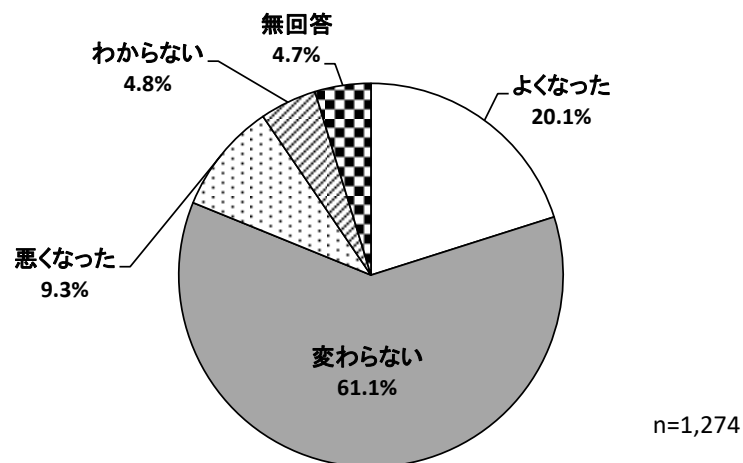
#### 現在のお住まいの周辺の生活環境について（問1）

「暮らしやすい」が半数を占めており、「どちらかという暮らしやすい」を加えると8割以上が暮らしやすいと感じている。



#### 5年前との比較について（問2）

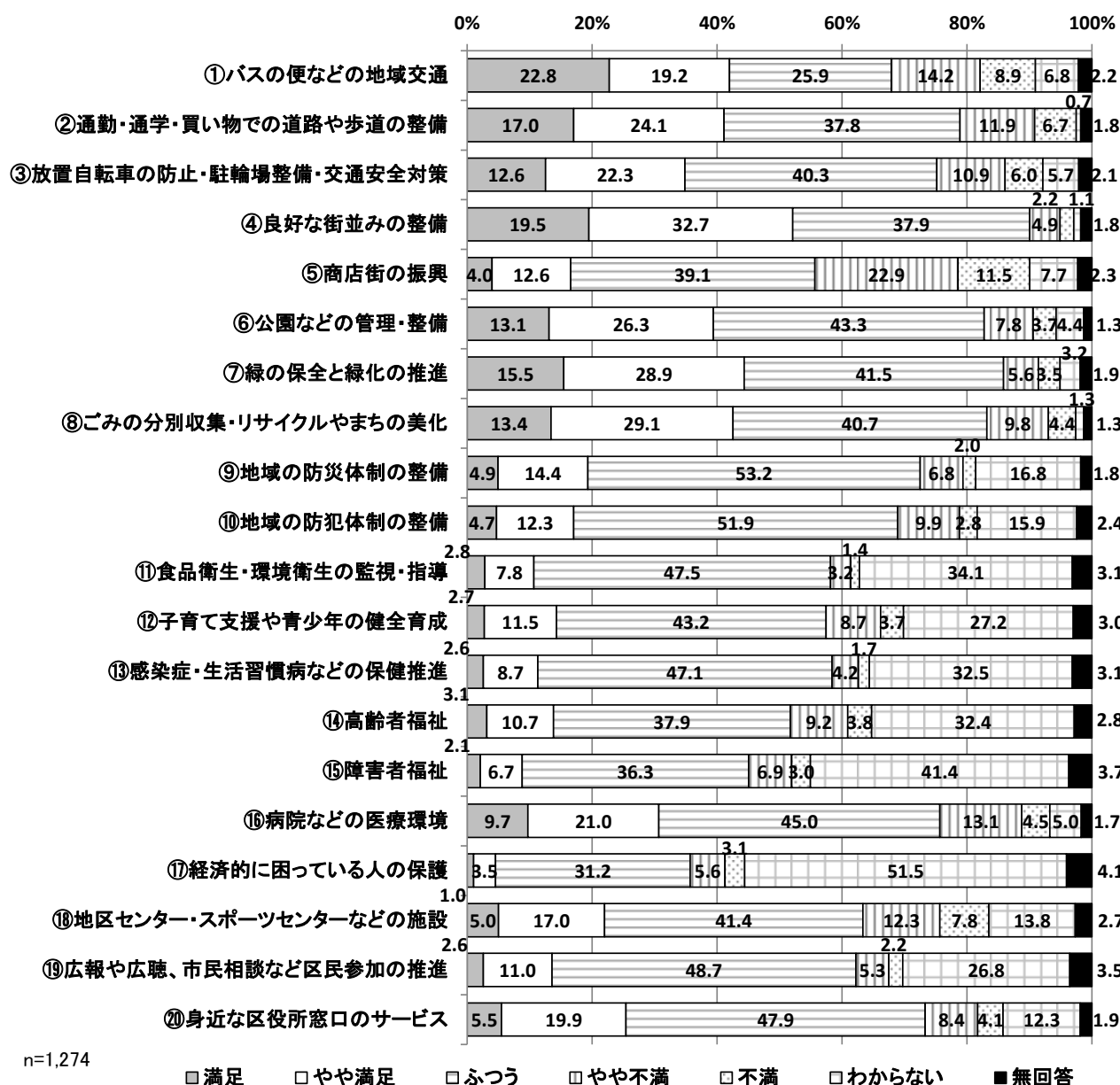
「変わらない」が6割を占めている。次いで「よくなった」が2割である。



# 生活環境に関する満足度・5年前との比較（問3）

## < 満足度 >

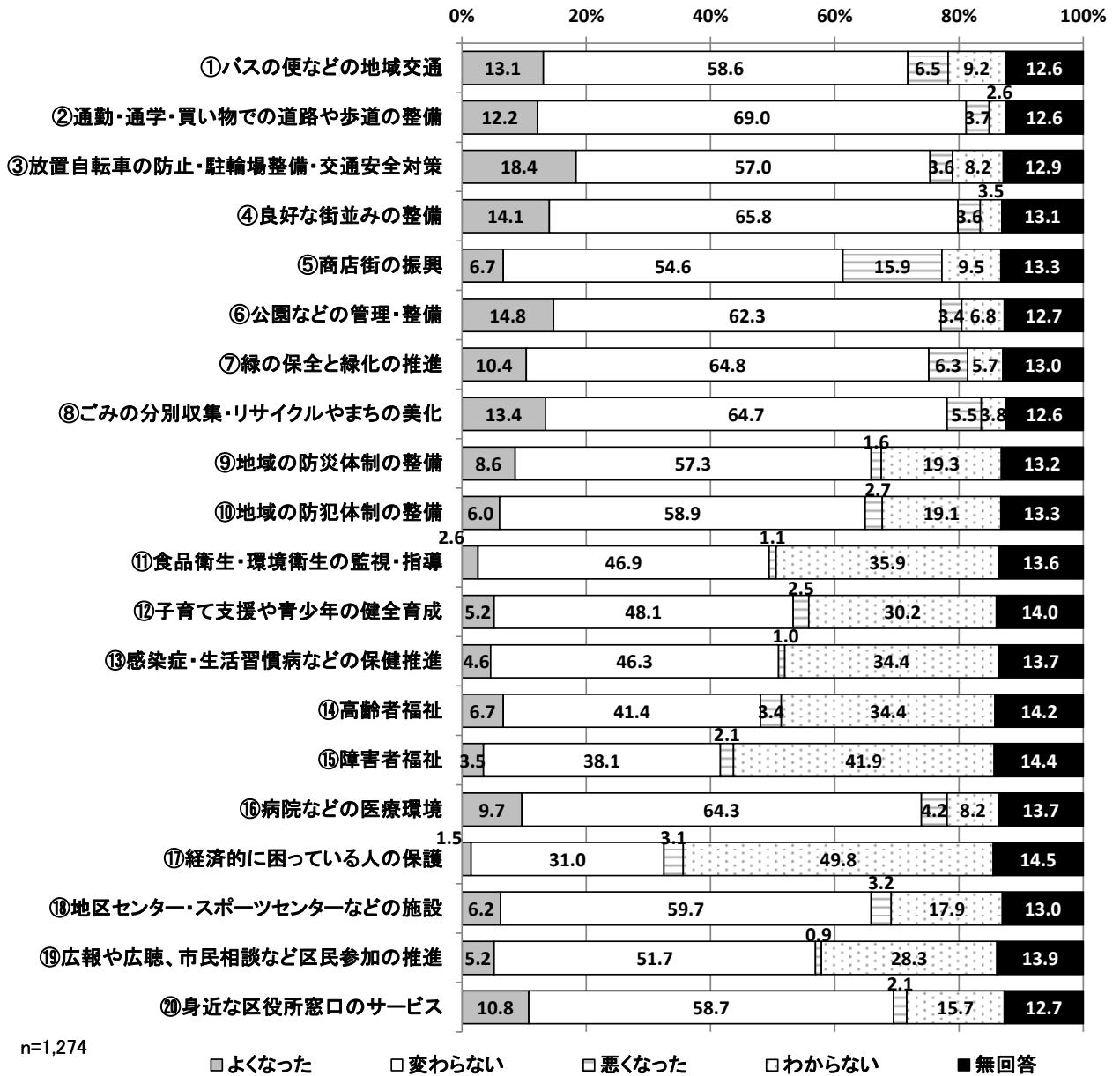
「満足」「やや満足」を合わせた数値の上位項目は、「良好な街並みの整備」「緑の保全と緑化の推進」「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」「バスの便などの地域交通」「通勤・通学・買い物での道路や歩道の整備」で、これら5項目は「満足」「やや満足」を合わせた数値が4割を超えている。



n=1,274

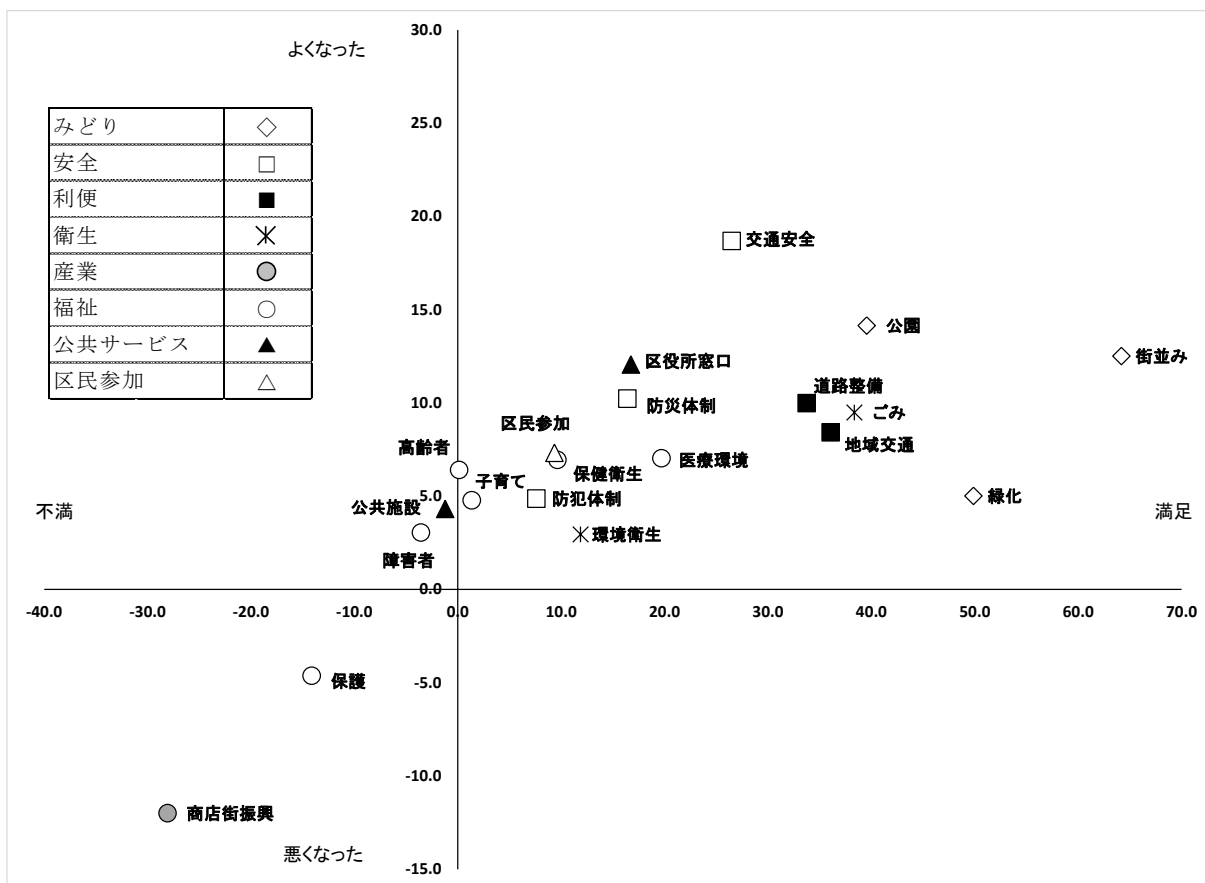
< 以前との比較 >

「よくなった」の数値が最も高いのは「放置自転車の防止・駐輪場整備・交通安全対策」で、以下「公園などの管理・整備」「良好な街並みの整備」「ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化」「バスの便などの地域交通」が上位5項目である。



## <『満足度』と『以前と比べた変化』の関係>

『満足度』『以前と比べた変化』について結果を点数化（※）し、両者の関係をみると、『満足度』では、「商店街振興」（設問項目を省略表記<ページ下の表>参照-以下同様）、「保護」「障害者」「公共施設」を除いて全ての項目が「満足」側にあり、『以前と比べた変化』では「商店街振興」と「保護」を除いて「よくなった」側に位置している。全体として、青葉区の生活環境の評価は高い。



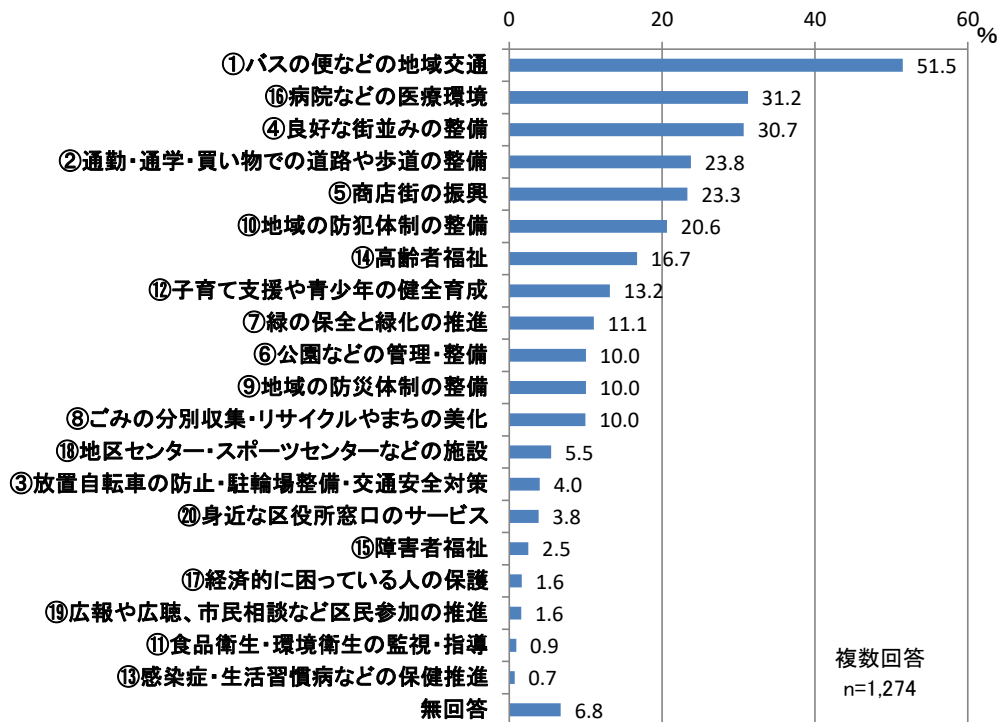
※満足度---「わからない」「無回答」を除いた構成比を用い、「満足」2点、「やや満足」1点、「ふつう」0点、「やや不満」-1点、「不満」-2点を付与して合計して算出

※以前と比べた変化---「わからない」「無回答」を除いた構成比を用い、「よくなった」1点、「かわらない」0点、「悪くなった」-1点を付与して合計して算出

設問項目	省略表記	分野
①バスの便などの地域交通	地域交通	利便
②通勤・通学・買い物での道路や歩道の整備	道路整備	利便
③放置自転車の防止・駐輪場整備・交通安全対策	交通安全	安全
④良好な街並みの整備	街並み	みどり
⑤商店街の振興	商店街振興	産業
⑥公園などの管理・整備	公園	みどり
⑦緑の保全と緑化の推進	緑化	みどり
⑧ごみの分別収集・リサイクルやまちの美化	ごみ	衛生
⑨地域の防災体制の整備	防災体制	安全
⑩地域の防犯体制の整備	防犯体制	安全
⑪食品衛生・環境衛生の監視・指導	環境衛生	衛生
⑫子育て支援や青少年の健全育成	子育て	福祉
⑬感染症・生活習慣病などの保健推進	保健衛生	福祉
⑭高齢者福祉	高齢者	福祉
⑮障害者福祉	障害者	福祉
⑯病院などの医療環境	医療環境	福祉
⑰経済的に困っている人の保護	保護	福祉
⑱地区センター・スポーツセンターなどの施設	公共施設	公共サービス
⑲広報や広聴、市民相談など区民参加の推進	区民参加	区民参加
⑳身近な区役所窓口のサービス	区役所窓口	公共サービス

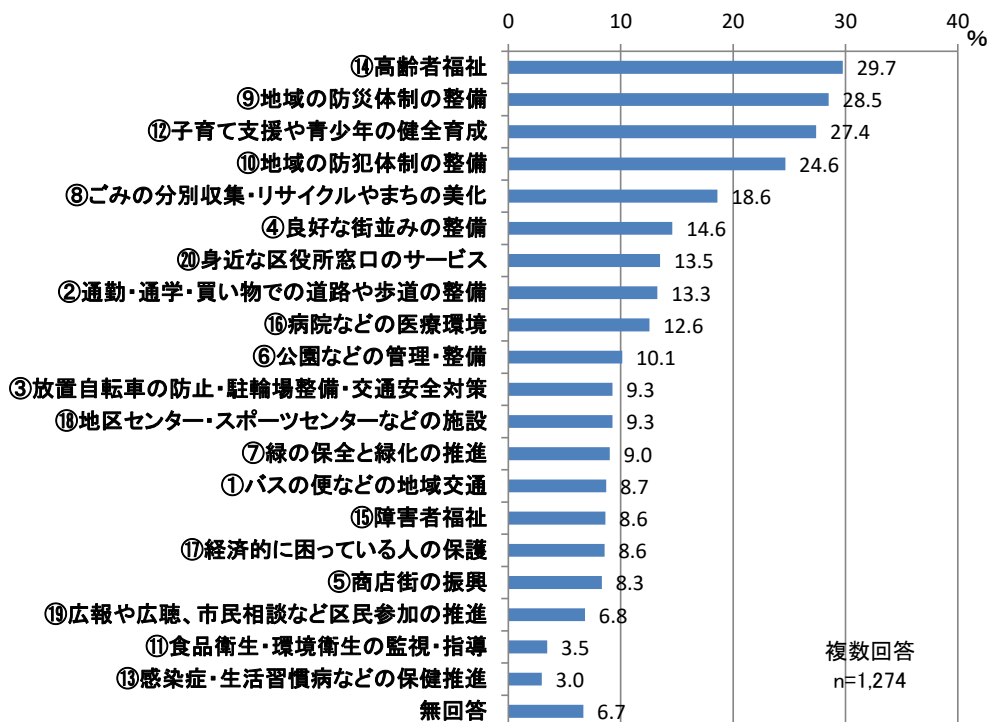
### 特に重視する生活環境（問４）

「バスの便などの地域交通」が最も多く、半数の人が挙げている。「病院などの医療環境」、「良好な街並みの整備」も３割を超えている。



### 区役所が取り組む課題として特に重要だと思うこと（問５）

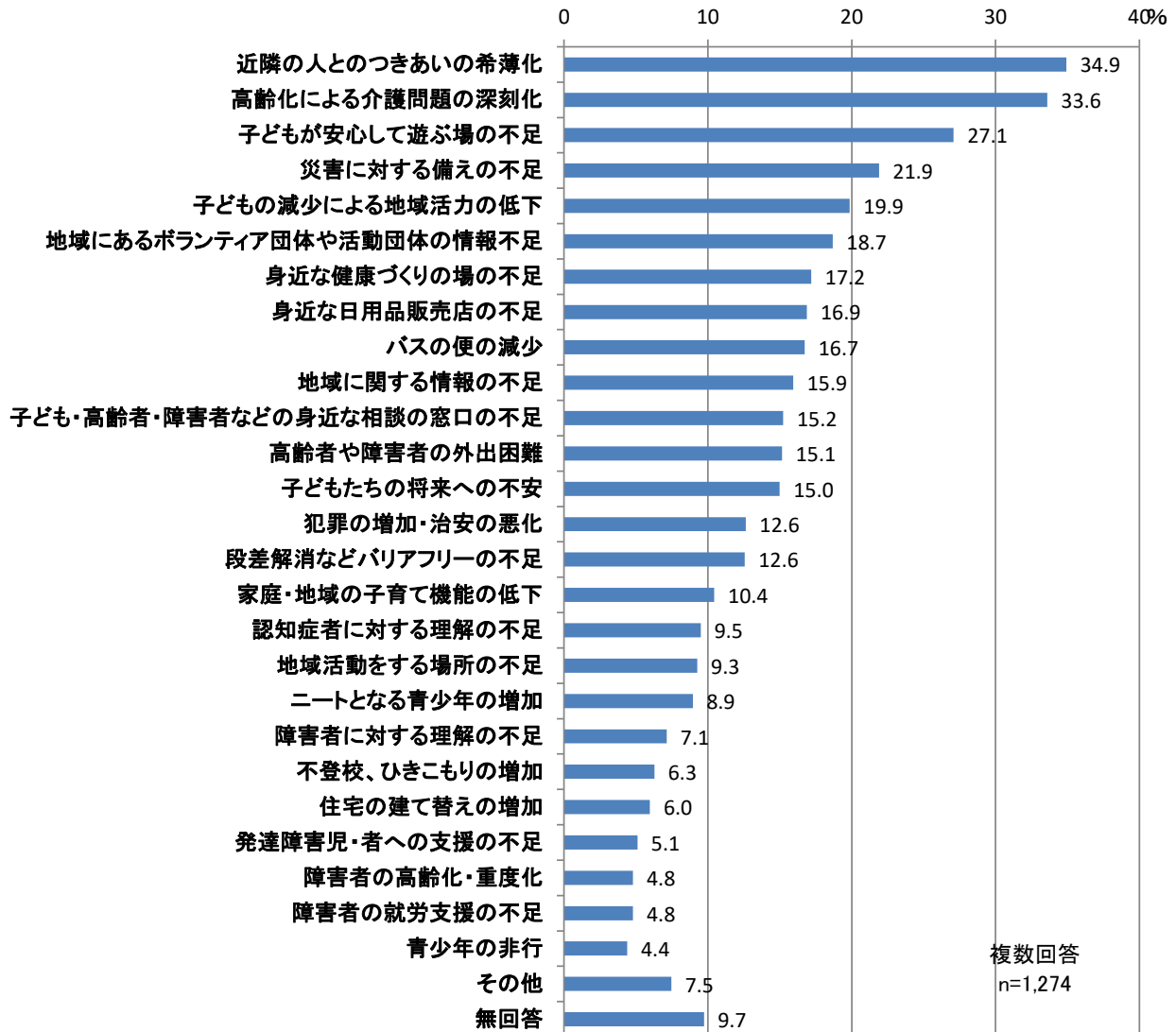
「高齢者福祉」が最も多く３割の人が挙げている。「地域の防災体制の整備」、「子育て支援や青少年の健全育成」、「地域の防犯体制の整備」が２割台である。



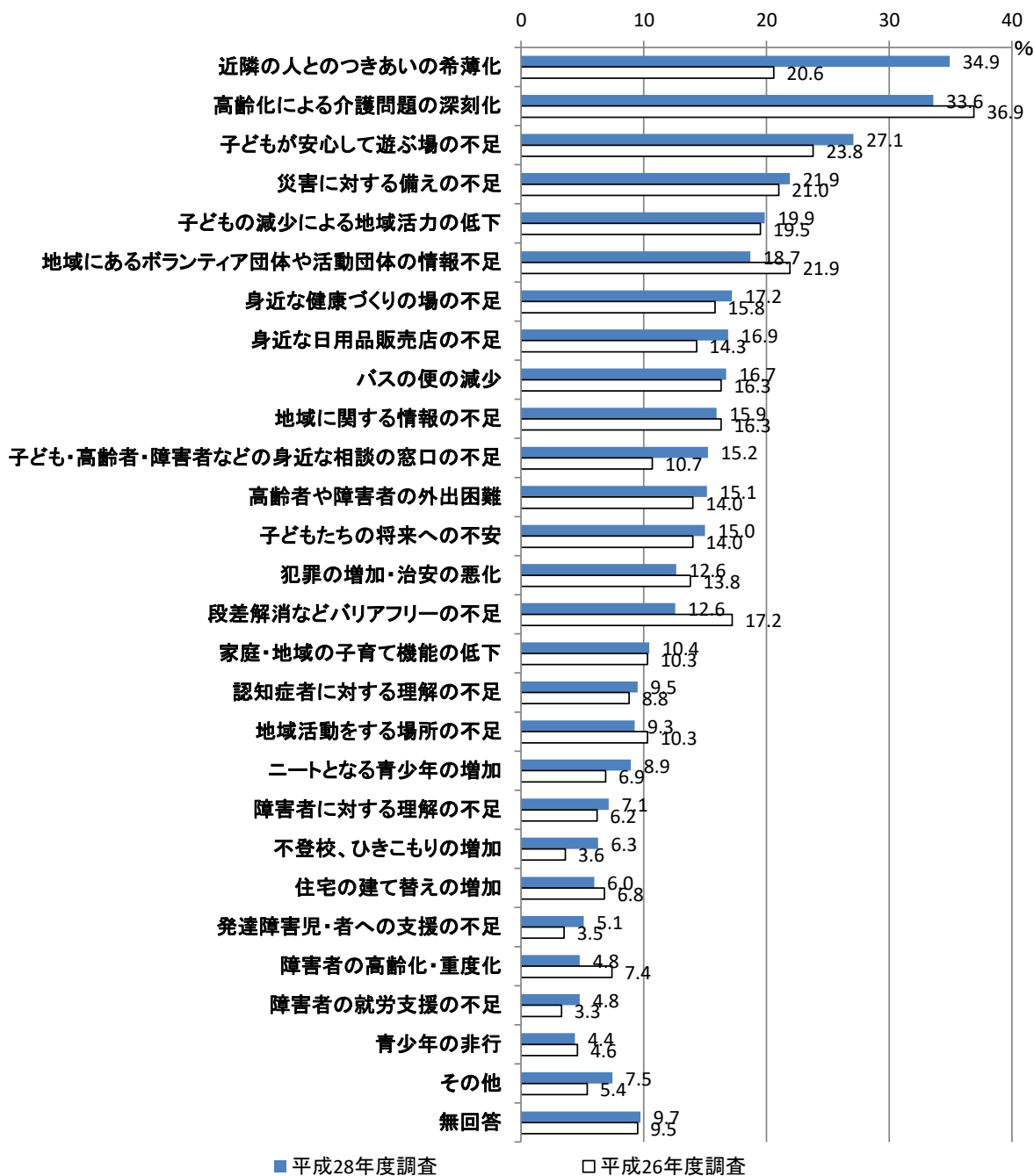
## 2. 地域と生活について

### 地域の課題や問題（問6）

最も多いのは「近隣の人とのつきあいの希薄化」で、平成26年度調査に比べ14.3ポイント上昇。以下「高齢化による介護問題の深刻化」、「子どもが安心して遊ぶ場の不足」、「災害に対する備えの不足」と続き、これらの項目は2割を超えている。



＜参考 平成26年度調査結果との比較＞



＜参考 平成26年度調査結果との比較 上位15位＞

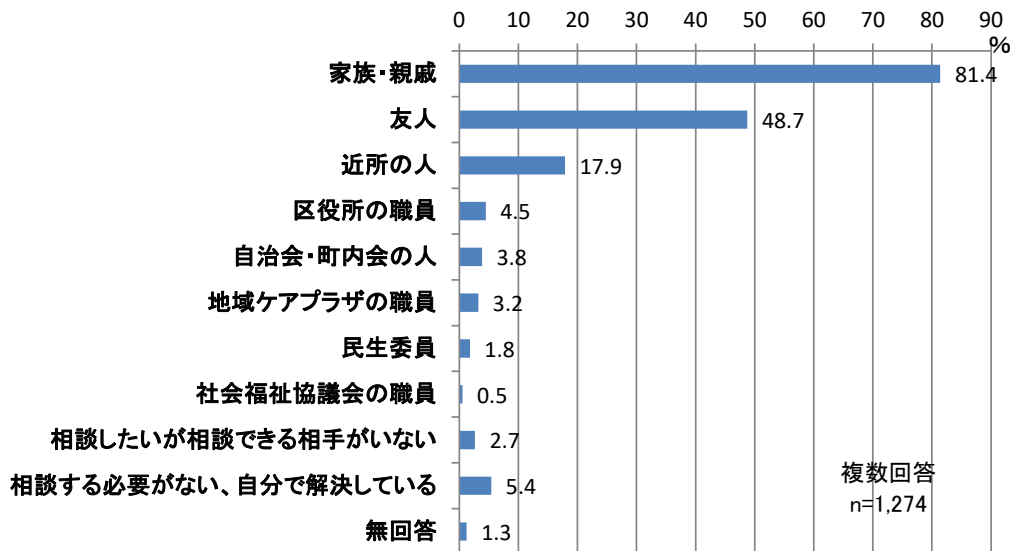
平成26年度調査		平成28年度調査	
高齢化による介護問題の深刻化	36.9	近隣の人とのつきあいの希薄化	34.9
子どもが安心して遊ぶ場の不足	23.8	高齢化による介護問題の深刻化	33.6
地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	21.9	子どもが安心して遊ぶ場の不足	27.1
災害に対する備えの不足	21.0	災害に対する備えの不足	21.9
近隣の人とのつきあいの希薄化	20.6	子どもの減少による地域活力の低下	19.9
子どもの減少による地域活力の低下	19.5	地域にあるボランティア団体や活動団体の情報不足	18.7
段差解消などバリアフリーの不足	17.2	身近な健康づくりの場の不足	17.2
バスの便の減少	16.3	身近な日用品販売店の不足	16.9
地域に関する情報の不足	16.3	バスの便の減少	16.7
身近な健康づくりの場の不足	15.8	地域に関する情報の不足	15.9
身近な日用品販売店の不足	14.3	子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	15.2
高齢者や障害者の外出困難	14.0	高齢者や障害者の外出困難	15.1
子どもたちの将来への不安	14.0	子どもたちの将来への不安	15.0
犯罪の増加・治安の悪化	13.8	犯罪の増加・治安の悪化	12.6
子ども・高齢者・障害者などの身近な相談の窓口の不足	10.7	段差解消などバリアフリーの不足	12.6

注) 薄い網掛けは2つ以上順位を上げた項目、濃い網掛けは2つ以上順位を下げた項目



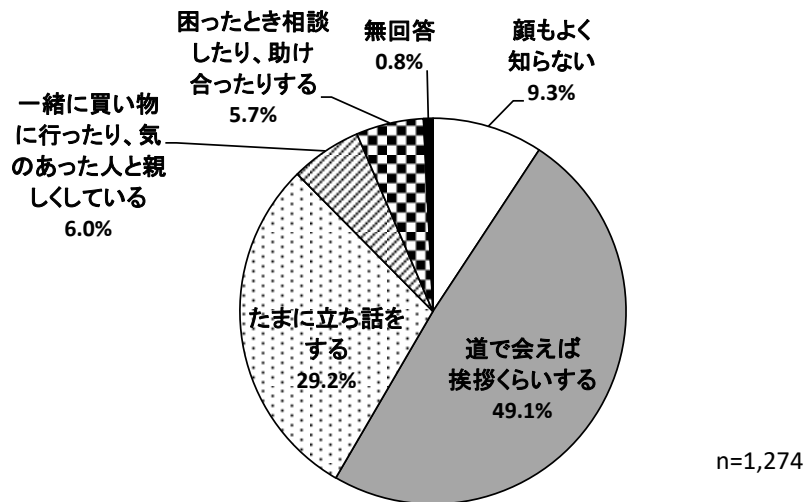
### 困ったときの相談先（問7）

「家族・親戚」を8割を超える人が挙げている。次いで「友人」を半数近くの人  
が挙げている。



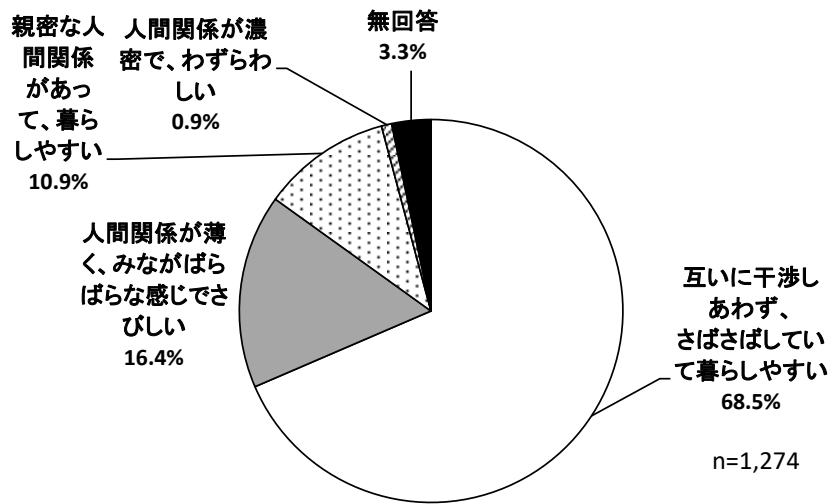
### 隣近所とのつき合い方（問8）

「道で会えば挨拶くらいする」が約半数、「たまに立ち話をする」が3割弱である。



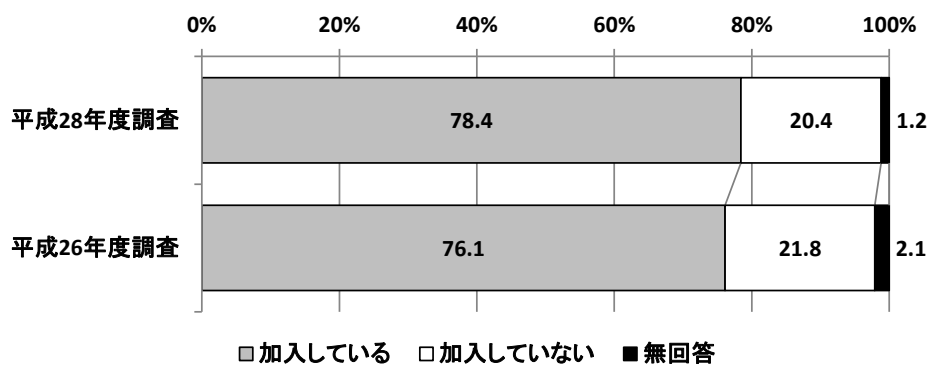
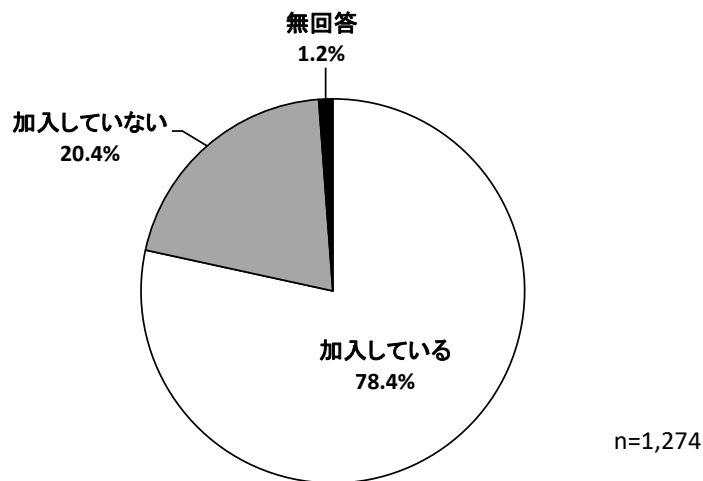
### 隣近所との付き合いの感じ方（問 9）

「互いに干渉しあわず、さばさばして暮らしやすい」が7割弱を占める。



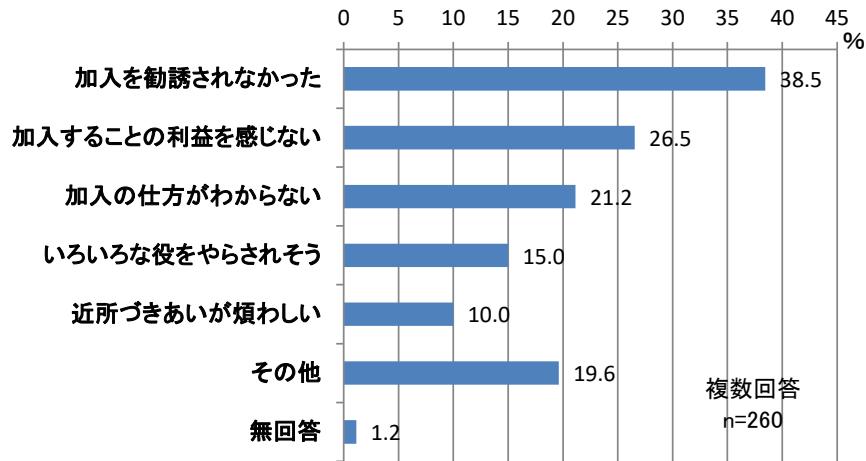
### 自治会・町内会への加入状況（問 10）

自治会・町内会への加入率は約8割。平成26年度調査より2.3ポイント増加。



### 自治会・町内会へ加入していない理由（問 10－ 1）

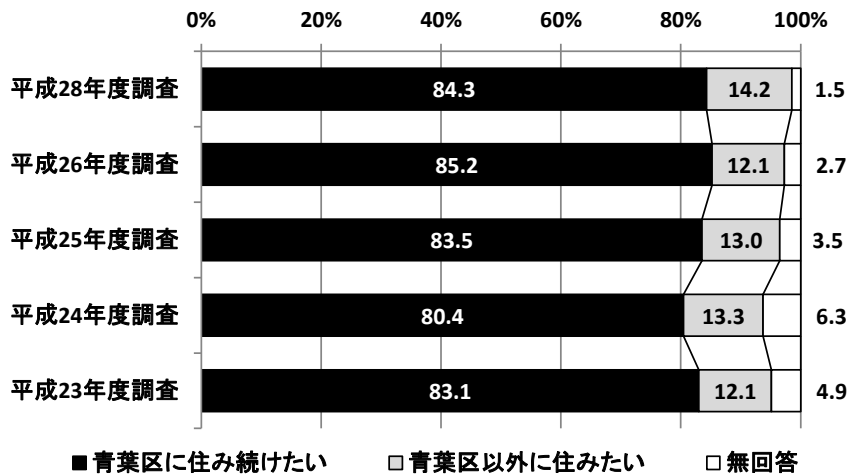
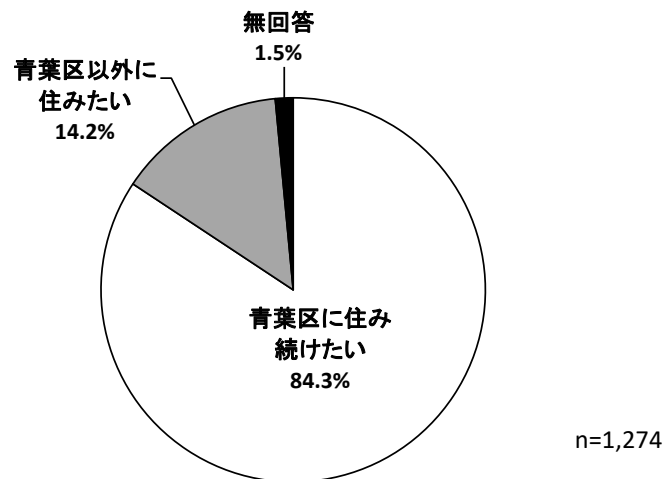
「加入を勧誘されなかった」が約 4 割で最も多く、次いで「加入することの利益を感じない」、「加入の仕方がわからない」が 2 割台となっている。



### 3. 定住意識について

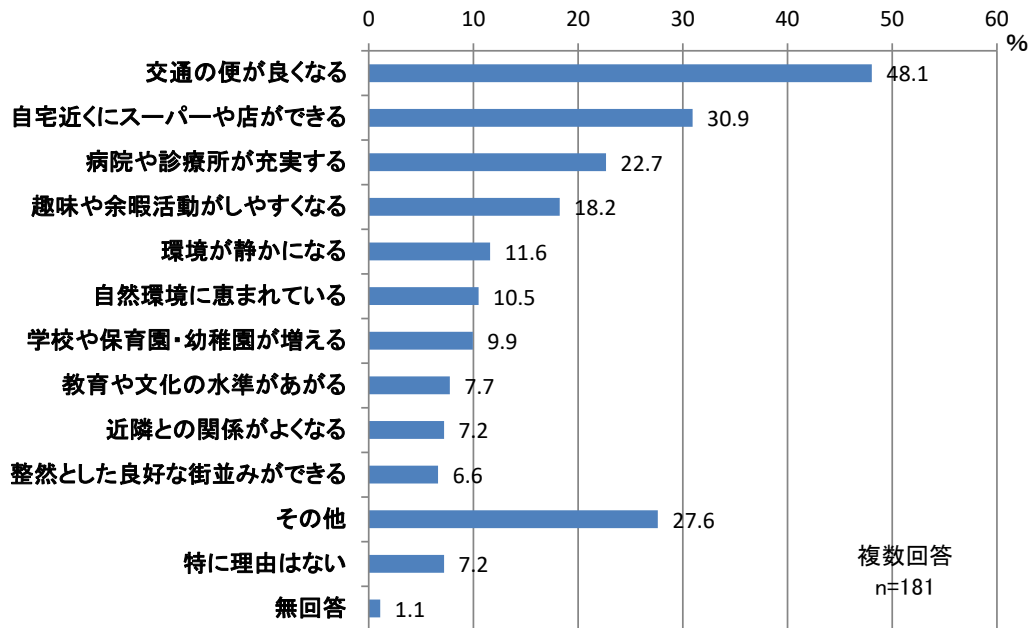
#### 青葉区への定住以降（問 11）

青葉区への定住意向は平成 23 年度から一貫して 8 割を超えている。



「住み続けたくない」が「住み続けたい」に変わるために必要なこと（問 11-1）

「交通の便が良くなる」が5割弱。次いで「自宅近くにスーパーや店ができる」が3割、「病院や診療所が充実する」が2割。



「その他」意見内容

大分類	中分類	件数
住環境の改善	坂が多い	5
	人が多すぎる	2
	住宅（実家）の維持	2
	ごみの捨て方が簡単になる	1
	完全禁煙化	1
	大気汚染の改善	1
	冬の寒さの改善	1
	商業	1
商店街の充実	商店街の充実	1
	福祉	5
高齢者福祉施設の充実	高齢者福祉施設の充実	2
	子ども向けの手当、医療費助成等の充実	2
	バリアフリー化	1
税金・物価	物価・家賃・地価が高い	7
	保険料・年金・税金が高い	6
	経済的格差の解消	3
	道路・交通	11
通勤時間の短縮	通勤時間の短縮	4
	田園都市線の混雑解消	4
	交通利便性の向上	1
	駐輪場の充実	1
	駐車場が高い	1
文化・教育	図書館の充実	2
	若者文化を取り入れる	1
	地域コミュニティ	2
お祭り	お祭り	1
	公共マナーの改善	1
その他		5
計		56

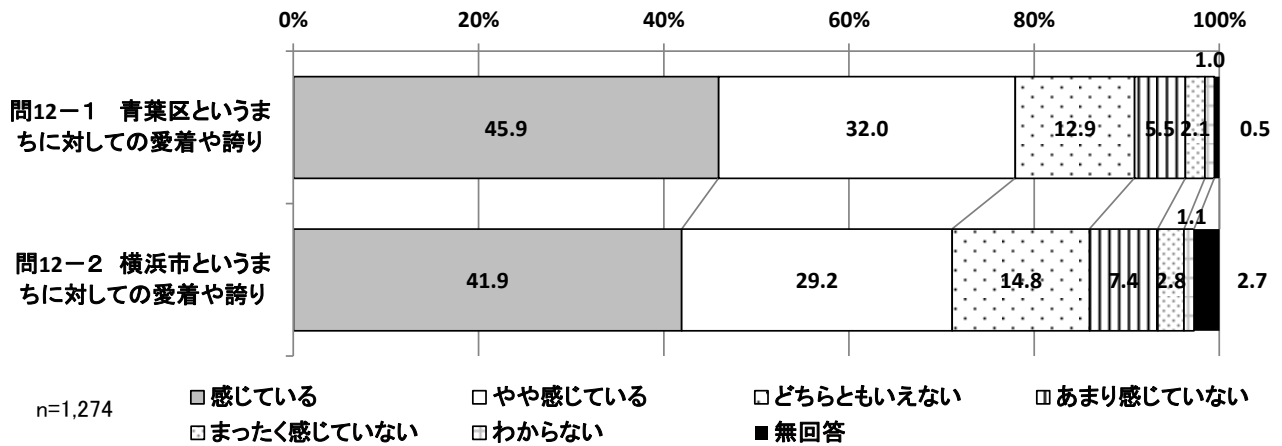
## 4. 区・市への愛着について

### 青葉区や横浜市への愛着や誇り（問12）

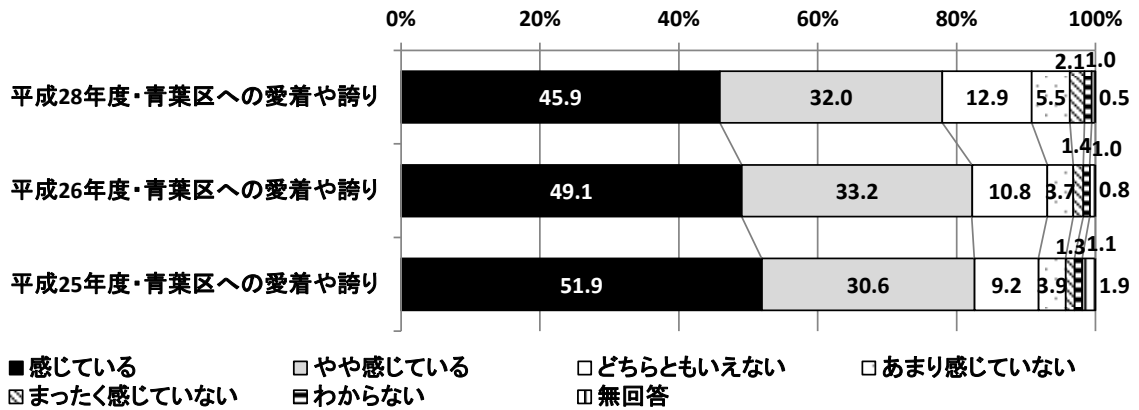
青葉区に愛着や誇りを「感じている」「やや感じている」を合わせると8割近い人が青葉区に愛着を感じている。

横浜市に愛着や誇りを「感じている」「やや感じている」を合わせると7割の人が横浜市に愛着を感じている。

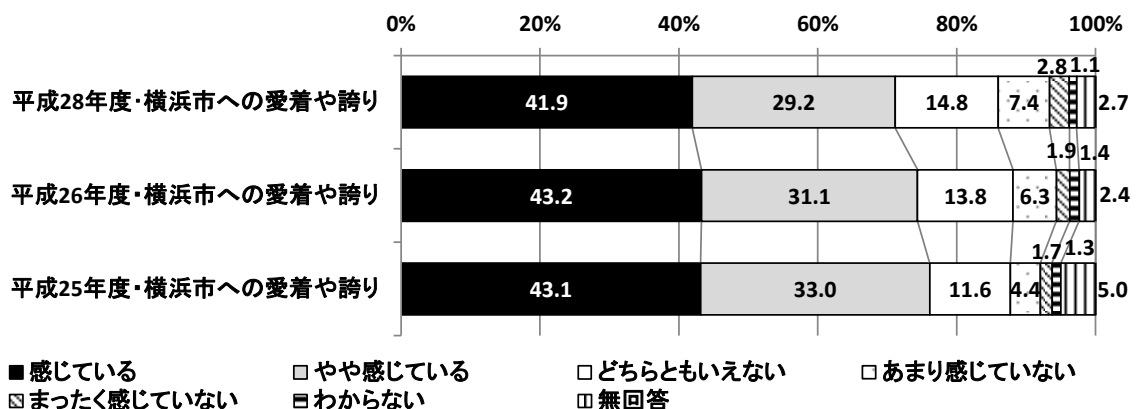
過去調査と比較すると、青葉区・横浜市とも「感じている」「やや感じている」を合わせた数値は減少傾向となっている。



### <参考 青葉区への愛着や誇り：平成25、26年度調査結果との比較>



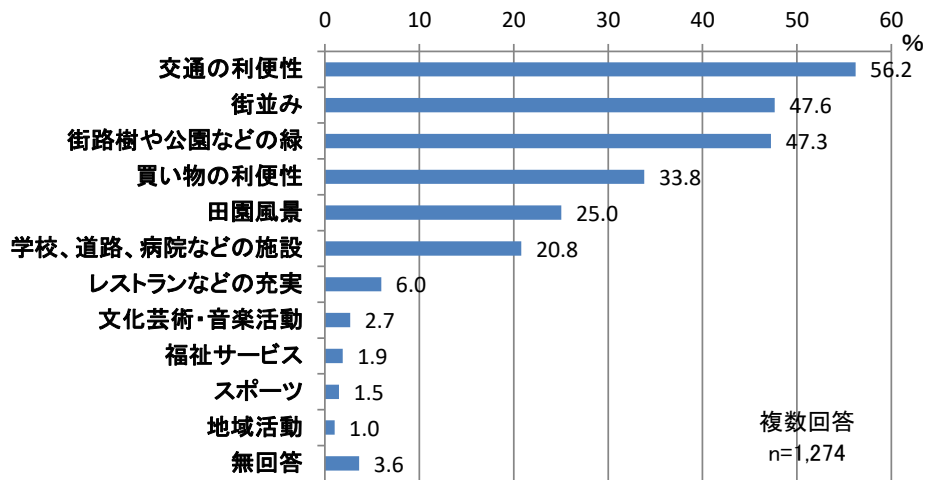
### <参考 横浜市への愛着や誇り：平成25、26年度調査結果との比較>



## 5. 青葉区の魅力について

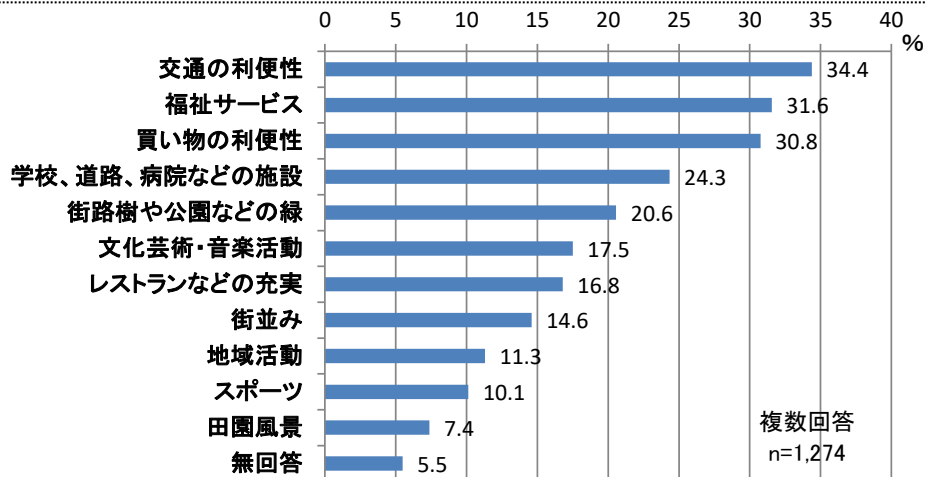
### 青葉区の魅力（問 13）

概ね半数の人が「交通の利便性」「街並み」「街路樹や公園などの緑」を挙げている。



### 青葉区の魅力について、より向上させてほしい点（問 14）

「交通の利便性」「福祉サービス」「買い物の利便性」が上位3項目。



## 青葉区内にある花と緑に関する場所で、あなたが好きな場所（問 15 記述）

「寺家ふるさと村」（157 件）、「こどもの国駅周辺」（130 件）、「たまプラーザ駅周辺」（92 件）、「桜台」（83 件）、「あざみ野周辺」（59 件）が上位 5 位  
 カテゴリー別では、「公園」（267 件）、「並木・街路樹」（173 件）が多い。

### 場所・エリア別

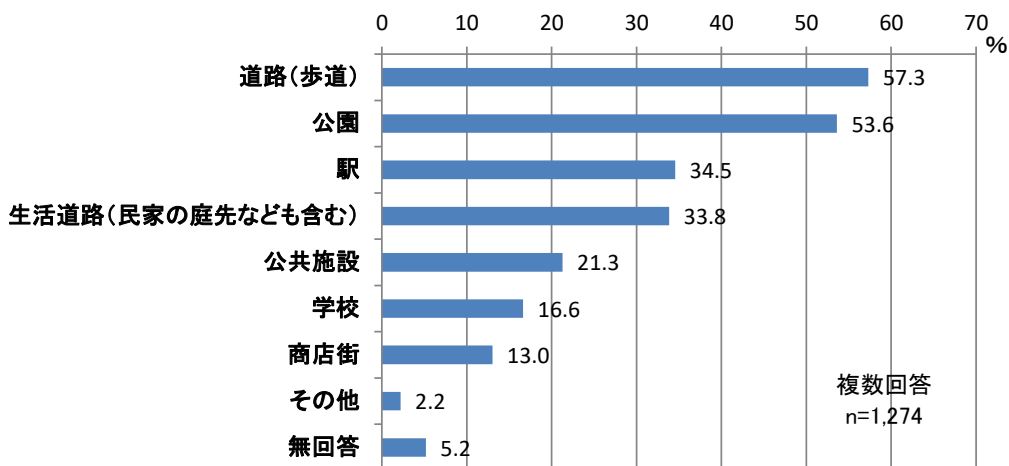
場所・エリア	件数
寺家ふるさと村	157
こどもの国駅周辺	130
たまプラーザ駅周辺	92
桜台(桜台公園など)	83
あざみ野駅周辺	59
鶴見川・谷本川沿い	33
美しが丘(美しが丘公園など)	33
もえぎ野(もえぎ野公園など)	32
藤が丘駅周辺	25
荳子田太陽公園(バラの公園)	16
青葉台駅周辺	14
保木(丘の上の桃の里)	13
市ヶ尾(駅、区役所、公園)	12
恩田川沿い	12
谷本(谷本公園、谷本小学校など)	12
奈良山公園	11
田奈(田園風景など)	6
たちばな台(たちばな台公園など)	6
恩田駅周辺	5
大場町(公園など)	5
つつじが丘(公園)	4
荳田(江田駅、公園)	4
柿の木台(街路樹)	4
桂台(公園、ケヤキ並木)	4
みすずが丘(公園)	3
すすき野(公園など)	3
元石川(街路樹)	2
成合(街路樹)	2
奈良町(公園など)	2
荳田西(荳田猿田公園など)	2
みたけ台(公園、ケヤキ並木)	2
松風台(公園、ハナミズキ)	2
榎が丘(街路樹など)	2
鉄町(桐蔭学園など)	2
しらとり台(ハーブ園)	1
鴨志田町(ハナミズキ)	1
すみよし台	1
千草台(公園)	1
その他(青葉区内)	3
その他(区外)	18
場所不特定(公園、桜並木など)	99
合計	918

### カテゴリー別

カテゴリー	件数
公園	267
並木・街路樹	173
寺家ふるさと村	157
こどもの国	125
道路・駅	63
川・川沿い	44
植物	21
住宅地	14
田園風景	12
山・丘	12
学校	6
商店街・商業施設	4
区役所	3
イベント	2
神社・寺院	2
その他	13
合計	918

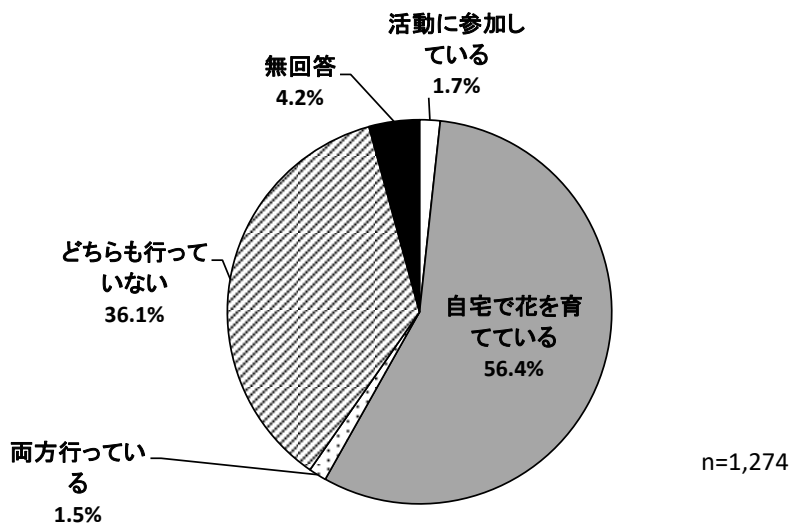
### 花や緑が増えてほしい場所（問 16）

半数以上の人「道路（歩道）」「公園」を挙げている。



### 花に関する活動（公園愛護会等）への参加、または自宅で花を育てているか。（問 17）

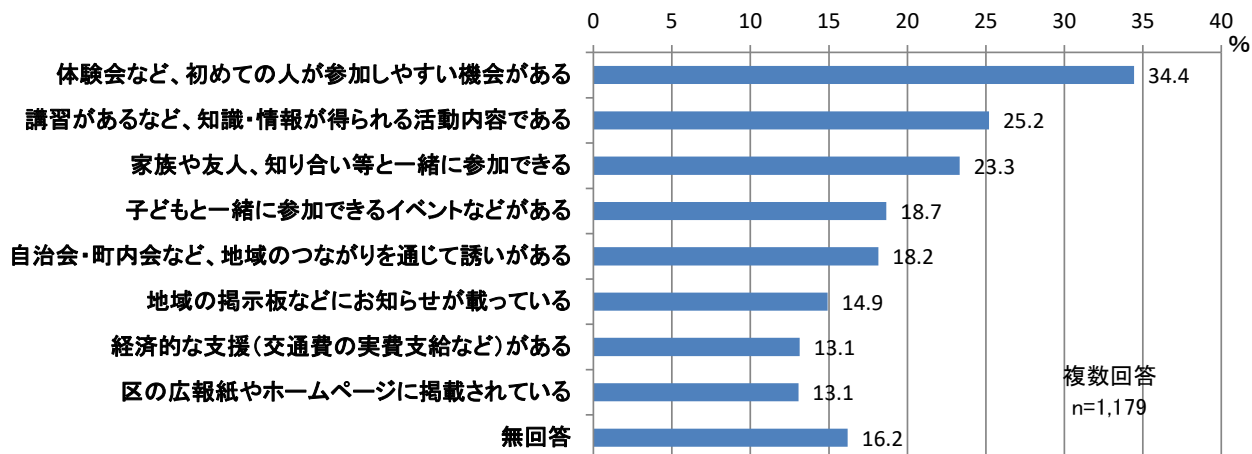
「自宅で花を育てている」が過半数を占めている。





## どのようになれば花に関する活動へ参加したいと思うか。(問 18)

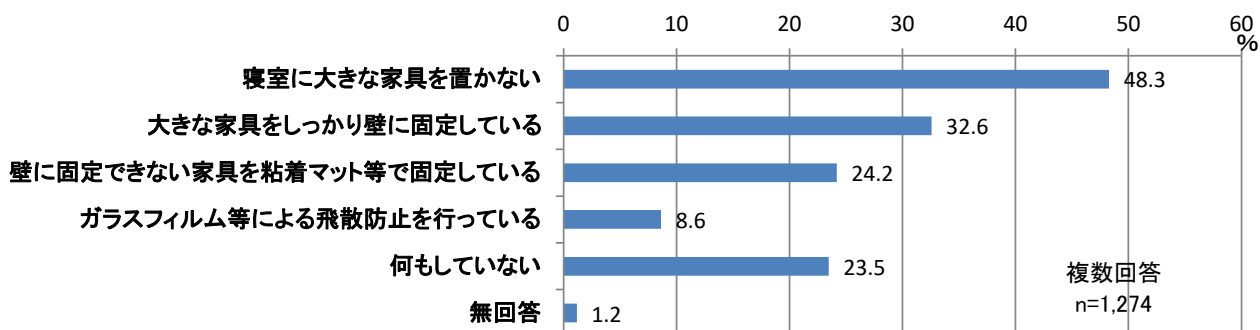
「体験会など、初めての人が参加しやすい機会がある」、「講習があるなど、知識・情報が得られる活動内容である」、「家族や友人、知り合い等と一緒に参加できる」が上位3項目。



## 6. 防災について

### 地震対策としてご自宅で行っている安全対策 (問 19)

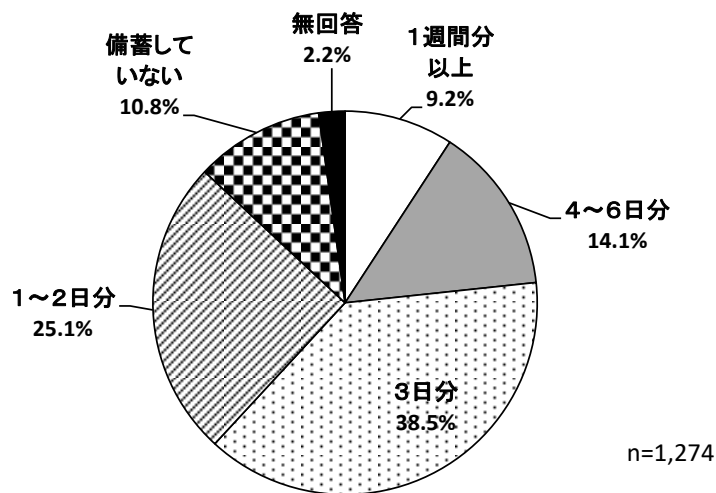
「寝室に大きな家具を置かない」が約半数と最も多い。次いで「大きな家具をしっかりと壁に固定している」が多い。「何もしていない」を挙げた人も2割みられる。



## 自宅での災害に対する備蓄状況

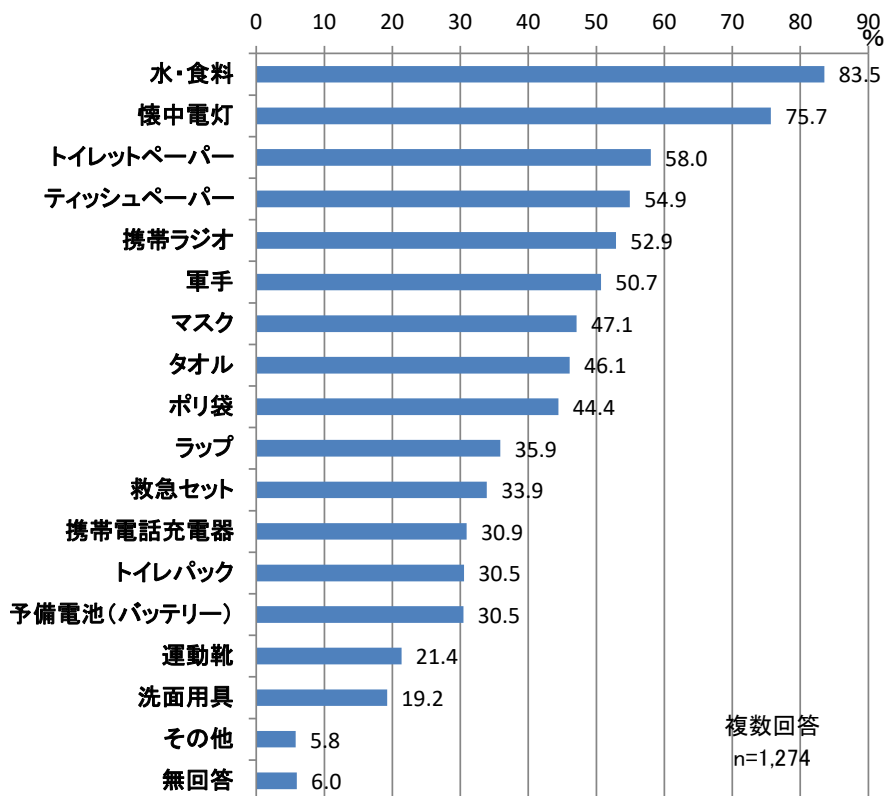
### 日常的な買い置きも含む食料・水の備蓄量（問 20-1）

「3日分」以上備蓄している人が約6割。



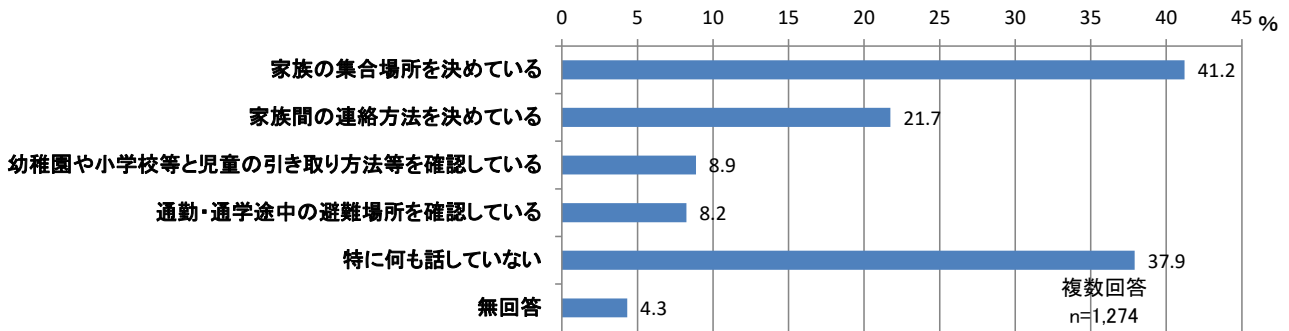
### 備蓄の内容（問 20-2）

半数以上の人々が「水・食料」「懐中電灯」「トイレトペーパー」「ティッシュペーパー」「携帯ラジオ」「軍手」を挙げている。



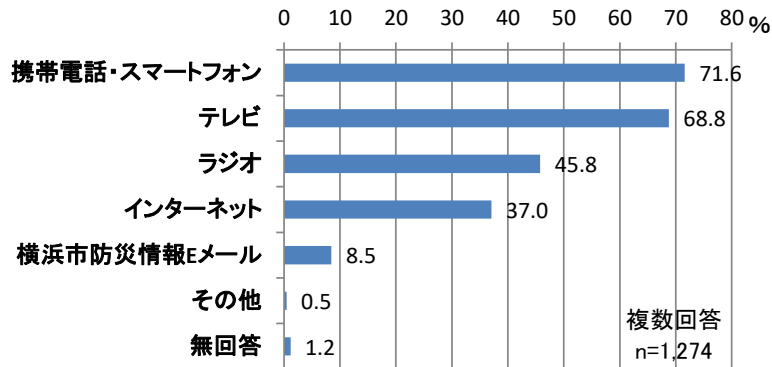
## 災害についての家族との話し合いの内容（問 21）

「家族の集合場所を決めている」が4割と最も多い。一方「特に何も話していない」も4割近くの人が挙げている。



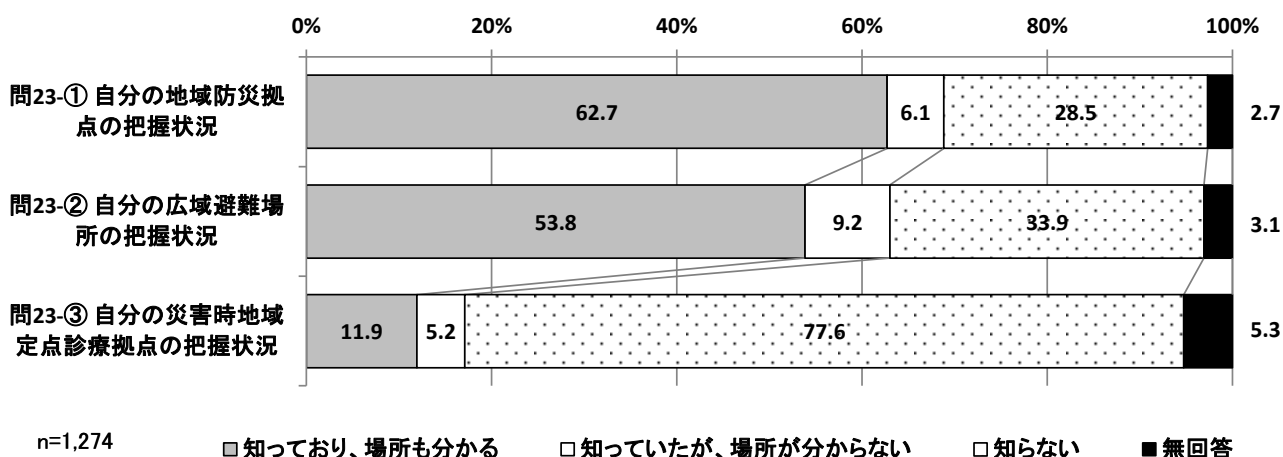
## 災害時の情報収集手段（問 22）

約7割の人が「携帯電話・スマートフォン」「テレビ」を挙げている。



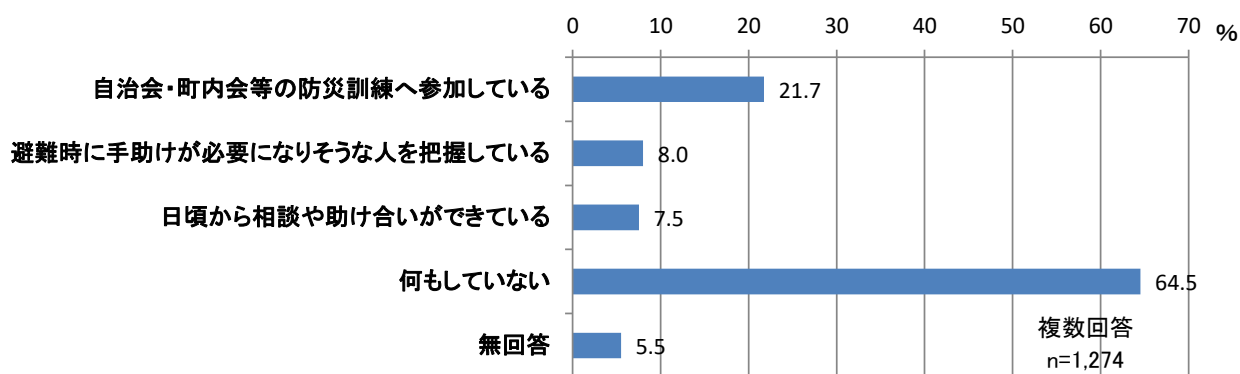
## 地域防災拠点、広域避難場所、災害時地域定点診療拠点の認知度（問 23）

地域防災拠点を「知っており、場所も分かる」は 6 割  
 広域避難場所を「知っており、場所も分かる」は 5 割  
 災害時地域定点診療拠点を「知っており、場所も分かる」は 1 割



## 普段からのご近所の付き合いの中で、防災対策で取組んでいること（問 24）

「何もしていない」が最も多く 6 割。  
 「自治会・町内会等の防災訓練へ参加している」が 2 割。

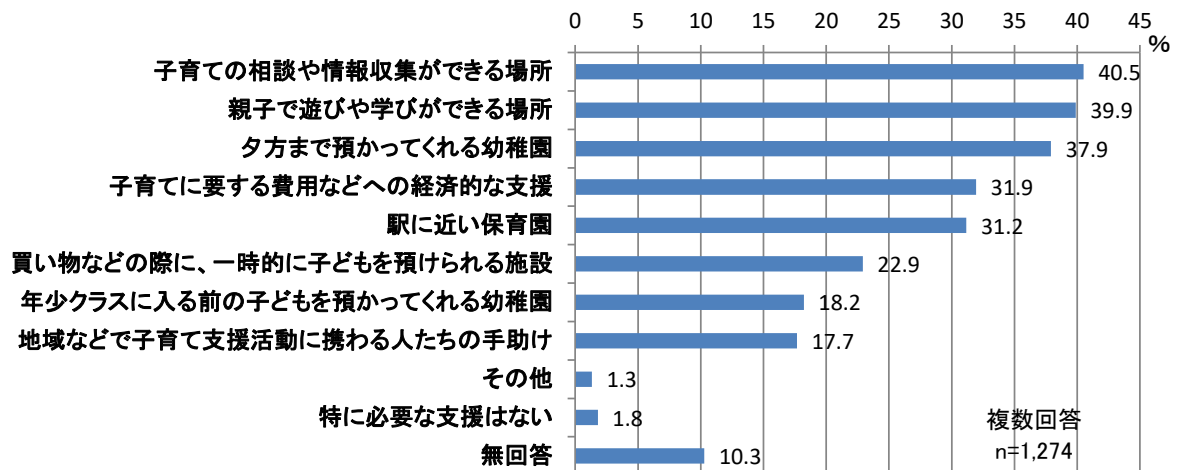


## 7. 子ども・子育て支援について

### 未就学児や小学生のお子さんをお持ちの家庭に必要な支援（問 25）

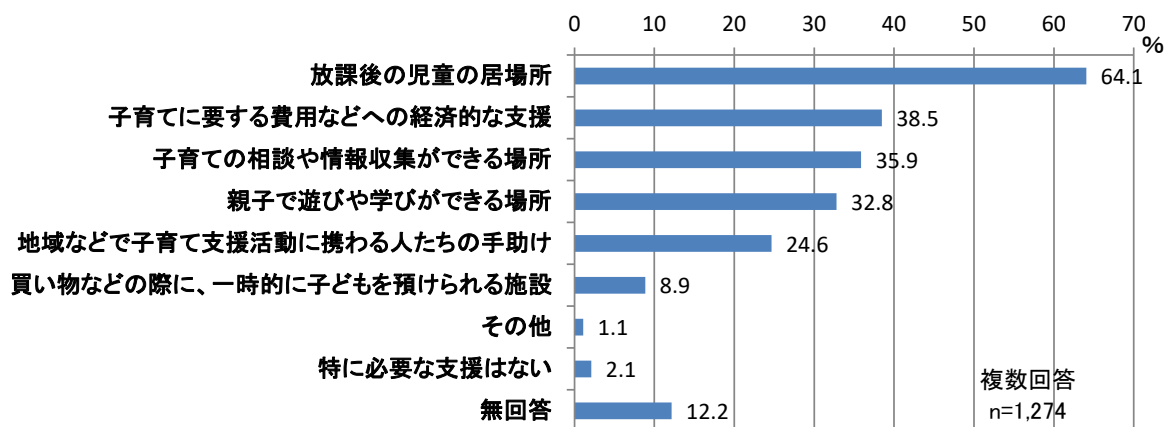
#### <未就学児>

「子育ての相談や情報収集ができる場所」「親子で遊びや学びができる場所」「夕方まで預かってくれる幼稚園」が上位3位。



#### <小学生>

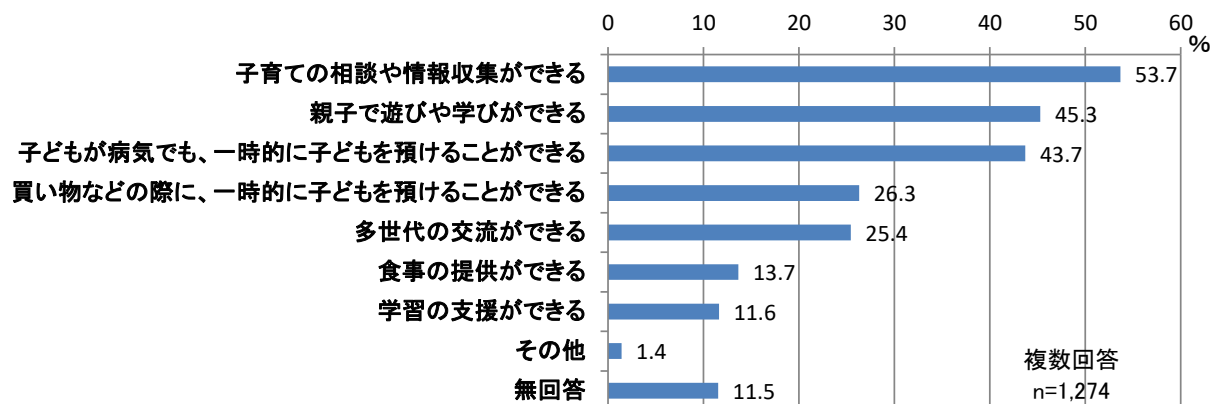
6割の人が「放課後の児童の居場所」を挙げ、3割以上の人が「子育てに要する費用などへの経済的な支援」「子育ての相談や情報収集ができる場所」「親子で遊びや学びができる場所」を挙げている。



## 地域の子育て支援拠点施設にあるとよい機能（問 26）

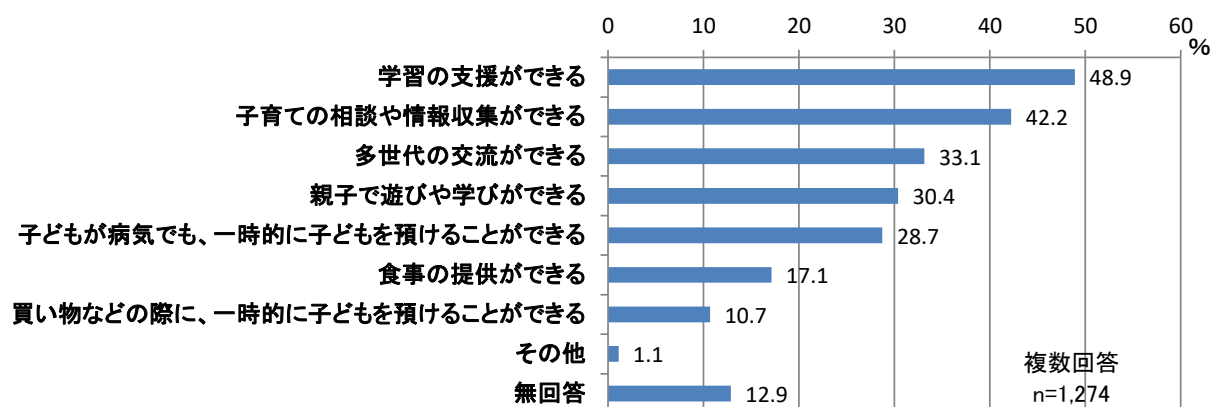
### <未就学児>

「子育ての相談や情報収集ができる」「親子で遊びや学びができる」「子どもが病気でも、一時的に子どもを預けることができる」が上位3位で4割以上が挙げている。



### <小学生>

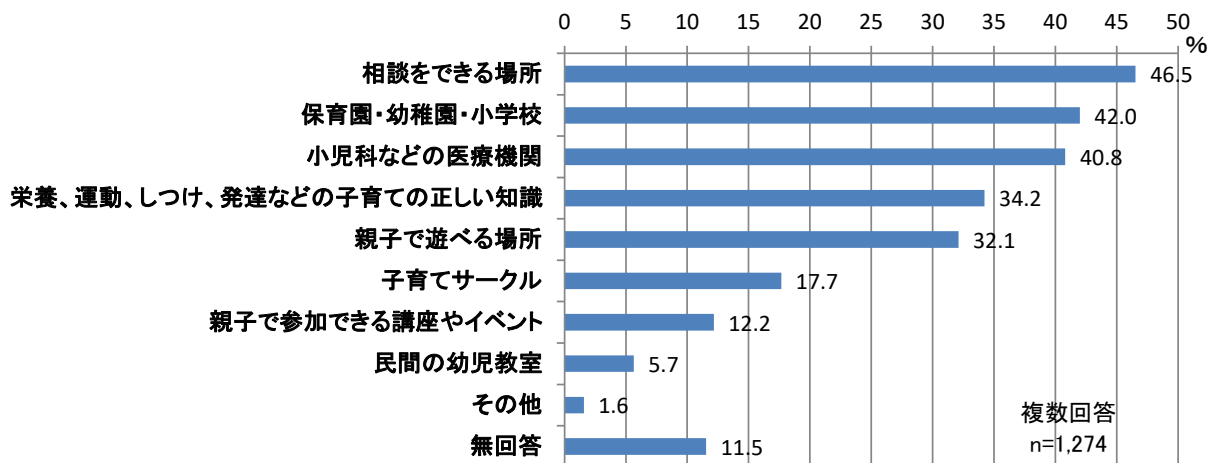
「学習の支援ができる」「子育ての相談や情報収集ができる」「多世代の交流ができる」が上位3位。



## 未就学児や小学生を育てるために必要な情報（問 27）

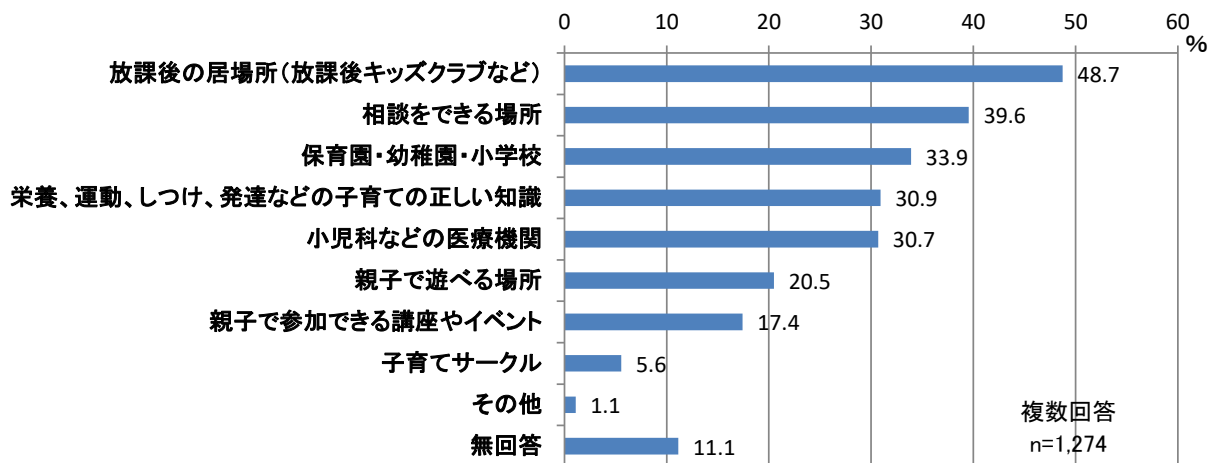
### < 未就学児 >

「相談をできる場所」「保育園・幼稚園・小学校」「小児科などの医療機関」が上位3位でいずれも4割以上の人が挙げている。



### < 小学生 >

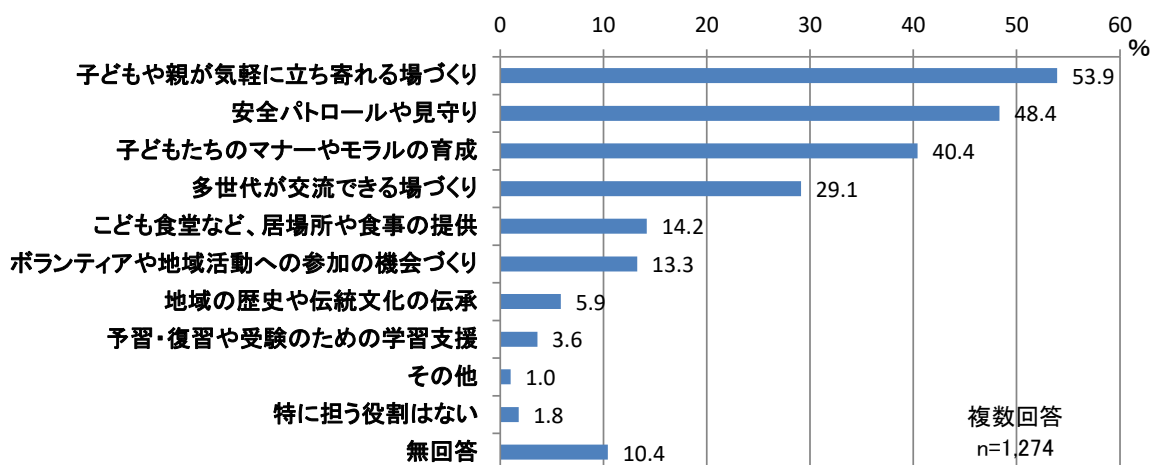
「放課後の居場所（放課後キッズクラブなど）」「相談をできる場所」「保育園・幼稚園・小学校」が上位3位。



## 未就学児、小学生が健やかに成長するために、地域が担うべき役割（問 28）

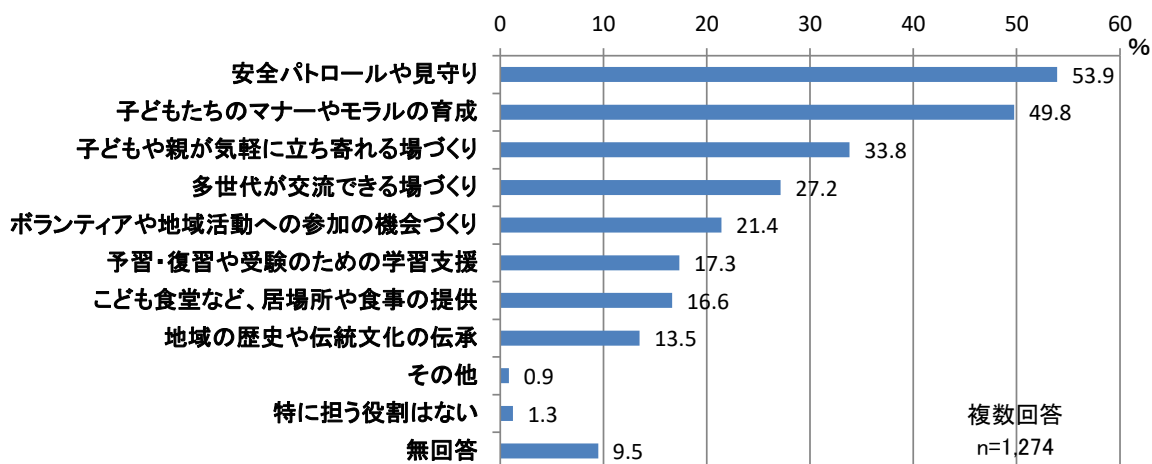
### <未就学児>

約半数の人が、「子どもや親が気軽に立ち寄れる場づくり」「安全パトロールや見守り」を挙げている。



### <小学生>

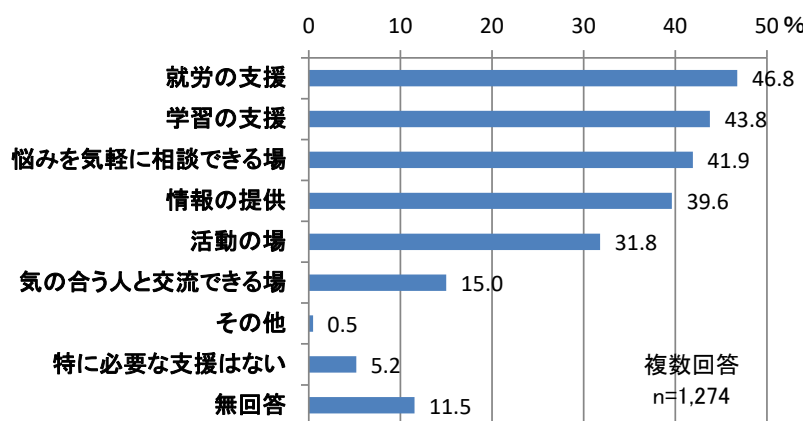
約半数の人が、「安全パトロールや見守り」「子どもたちのマナーやモラルの育成」を挙げている。





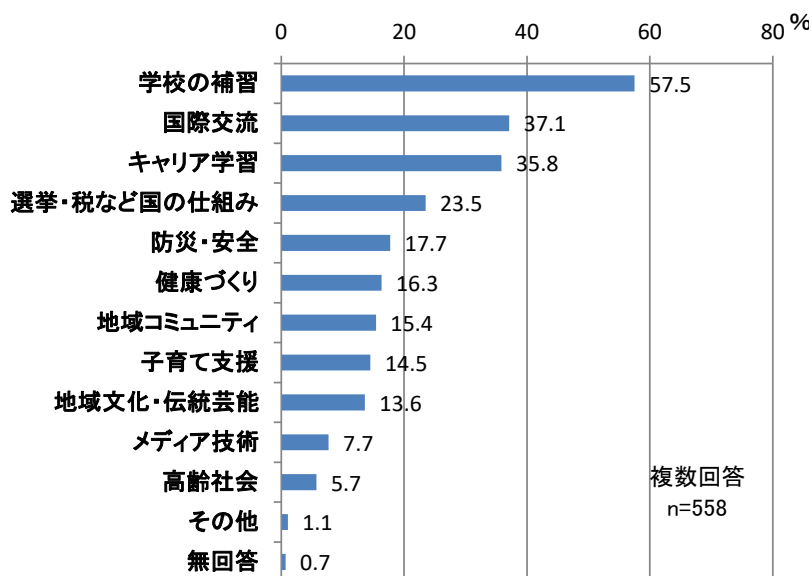
## 青少年や、青少年を持つ家庭に必要な支援（問 29）

約 4 割の人が「就労の支援」「学習の支援」「悩みを気軽に相談できる場」「情報の提供」を挙げている。



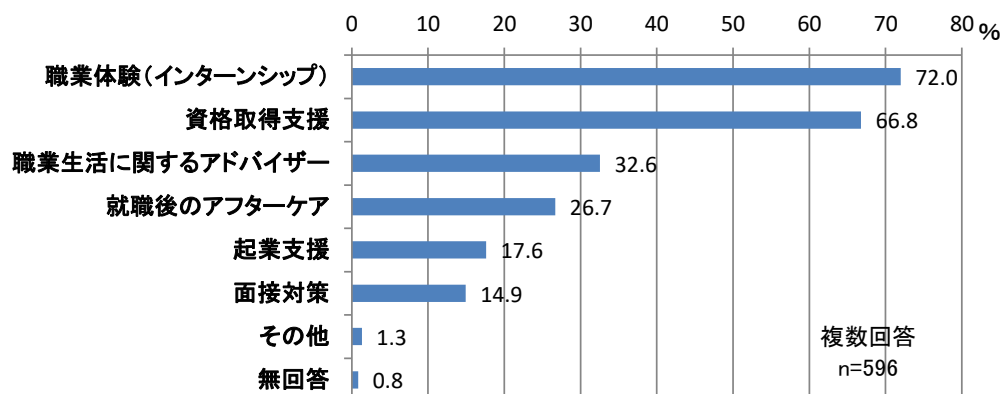
## 青少年にとってあるとよい学習支援（問 29-1）

6 割弱の人が「学校の補習」を挙げ、3 割の人が「国際交流」「キャリア学習」を挙げている。



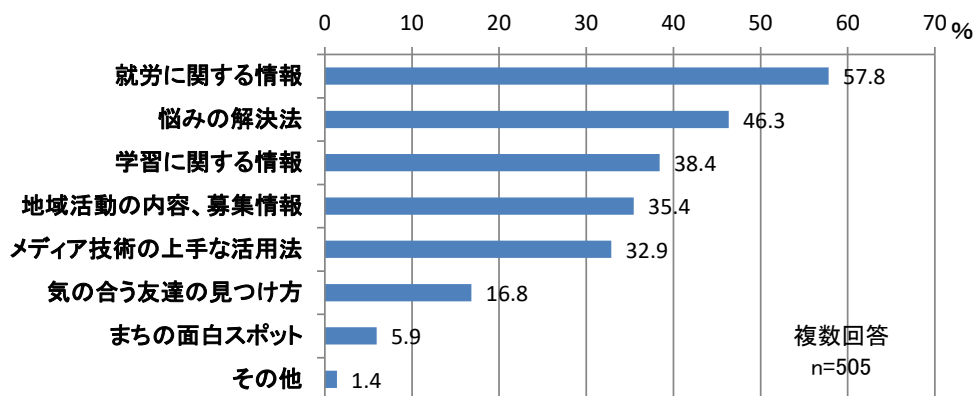
### 青少年にとってあるとよい就労支援（問 29-2）

約7割の人が「職業体験（インターンシップ）」「資格取得支援」を挙げている。



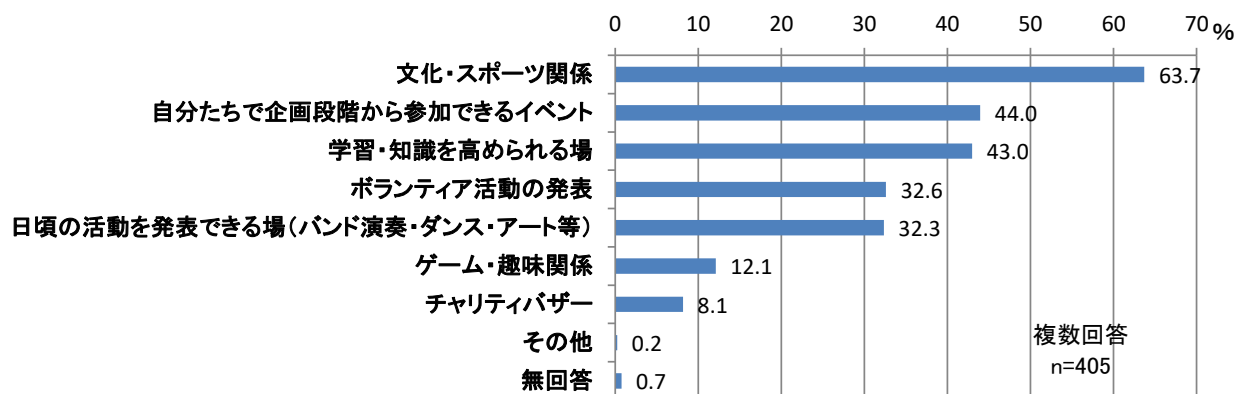
### 青少年にとってあるとよい情報（問 29-3）

6割弱の人が「就労に関する情報」を挙げ、5割弱の人が「悩みの解決法」を挙げている。



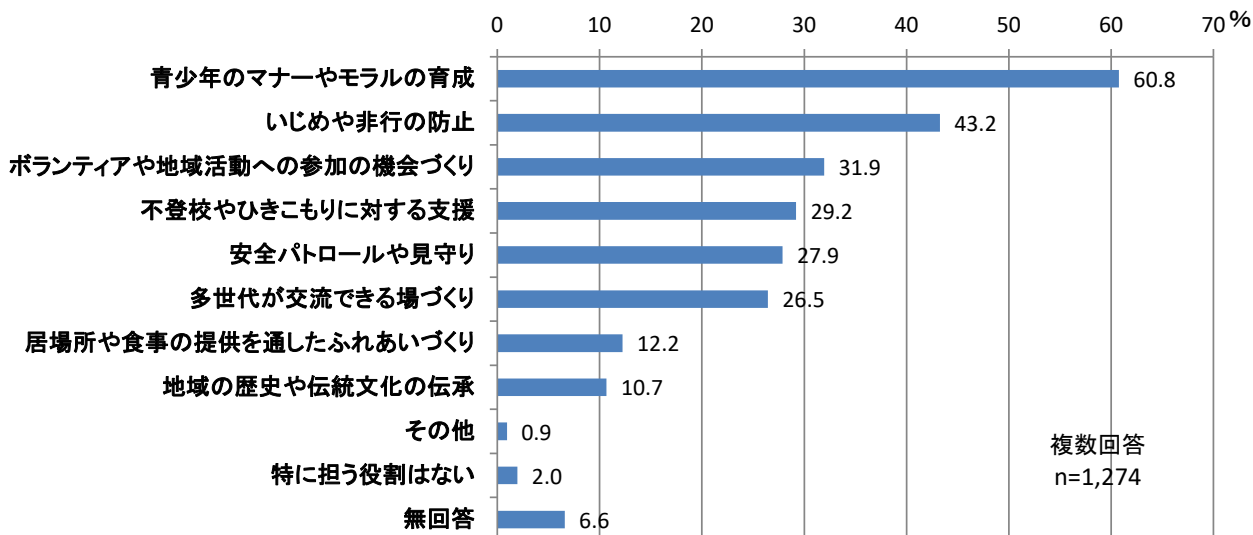
### 青少年にとってあるとよい活動の場（問 29－4）

6割の人が「文化・スポーツ関係」を挙げ、4割の人が「自分たちで企画段階から参加できるイベント」「学習・知識を高められる場」を挙げている。



### 青少年が健やかに成長するために、地域が担うべき役割（問 30）

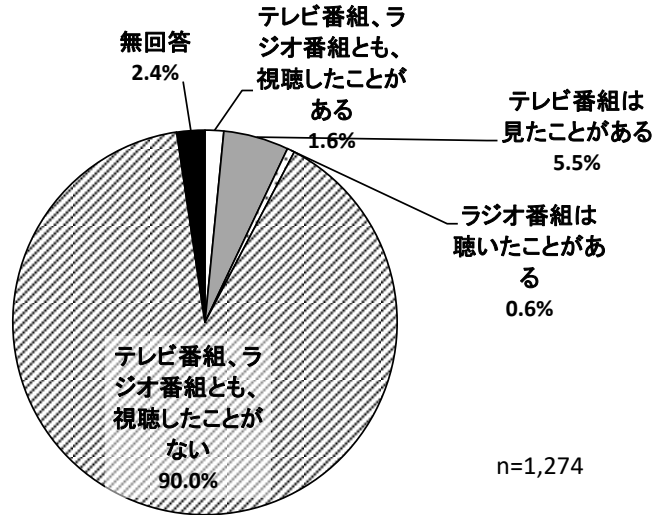
6割の人が「青少年のマナーやモラルの育成」を挙げ、4割の人が「いじめや非行の防止」を挙げている。



## 8. 広報について

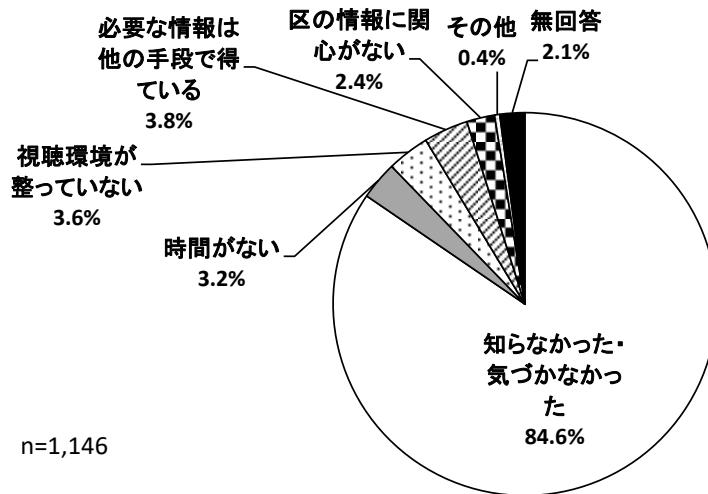
### 青葉区広報テレビ番組、青葉区広報ラジオ番組の視聴有無。(問 31)

「テレビ番組、ラジオ番組とも、視聴したことがない」が9割。



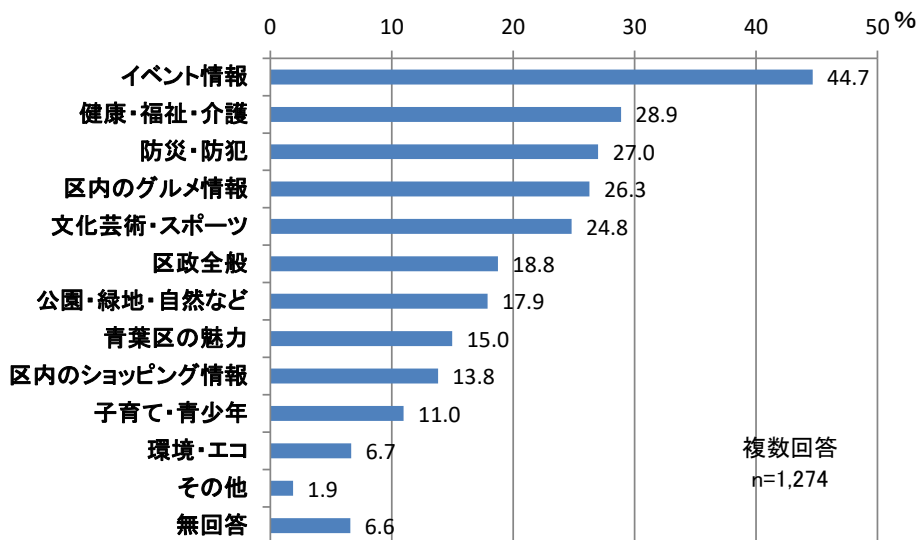
### 視聴したことがない理由 (問 31-1)

「知らなかった・気づかなかった」が8割。



## 視聴したい青葉区の広報番組のテーマ（問 32）

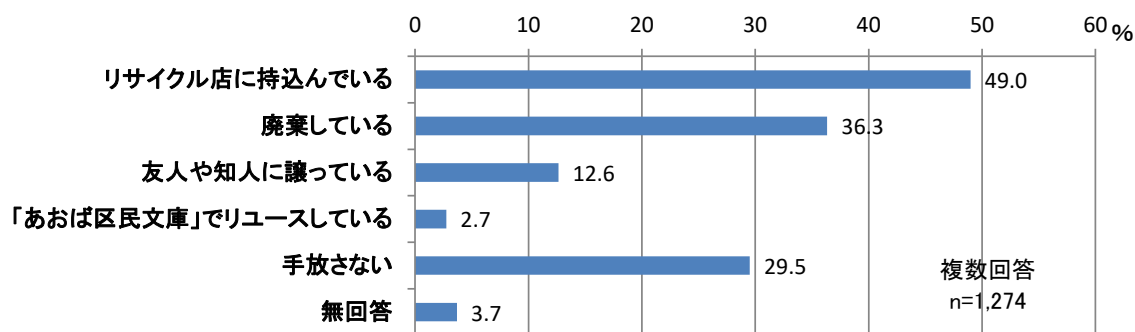
「イベント情報」が4割。



## 9. 読書推進について

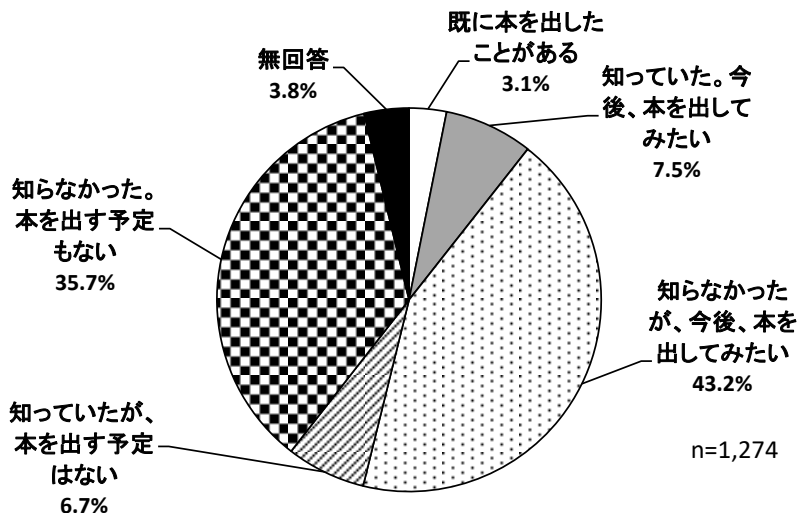
### 読み終わった本はどのように手放しているか（問 33）

約半数の人が「リサイクル店に持込んでいる」。



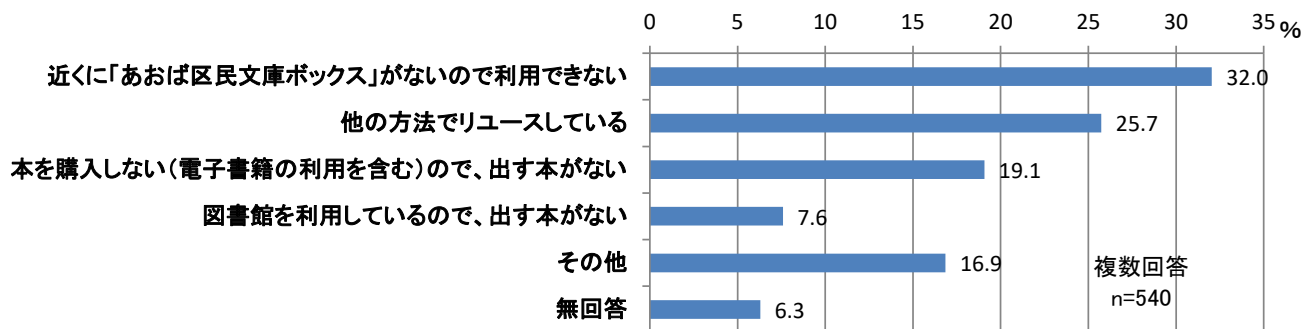
### 「あおば区民文庫ボックス」の認知度と利用意向（問 34）

「あおば区民文庫ボックス」を知らなかった人が約 8 割を占め、その半数が「知らなかったが、今後、本を出してみたい」と回答している。



### 「あおば区民文庫ボックス」を利用されない理由（問 34-1）

「近くに「あおば区民文庫ボックス」がないので利用できない」「他の方法でリユースしている」が主な理由。



「あおば区民文庫ボックス」が多くの方に利用されるために必要なこと（問 34-2）

「設置場所の増加」が最も多く、次いで「PR」が多い。

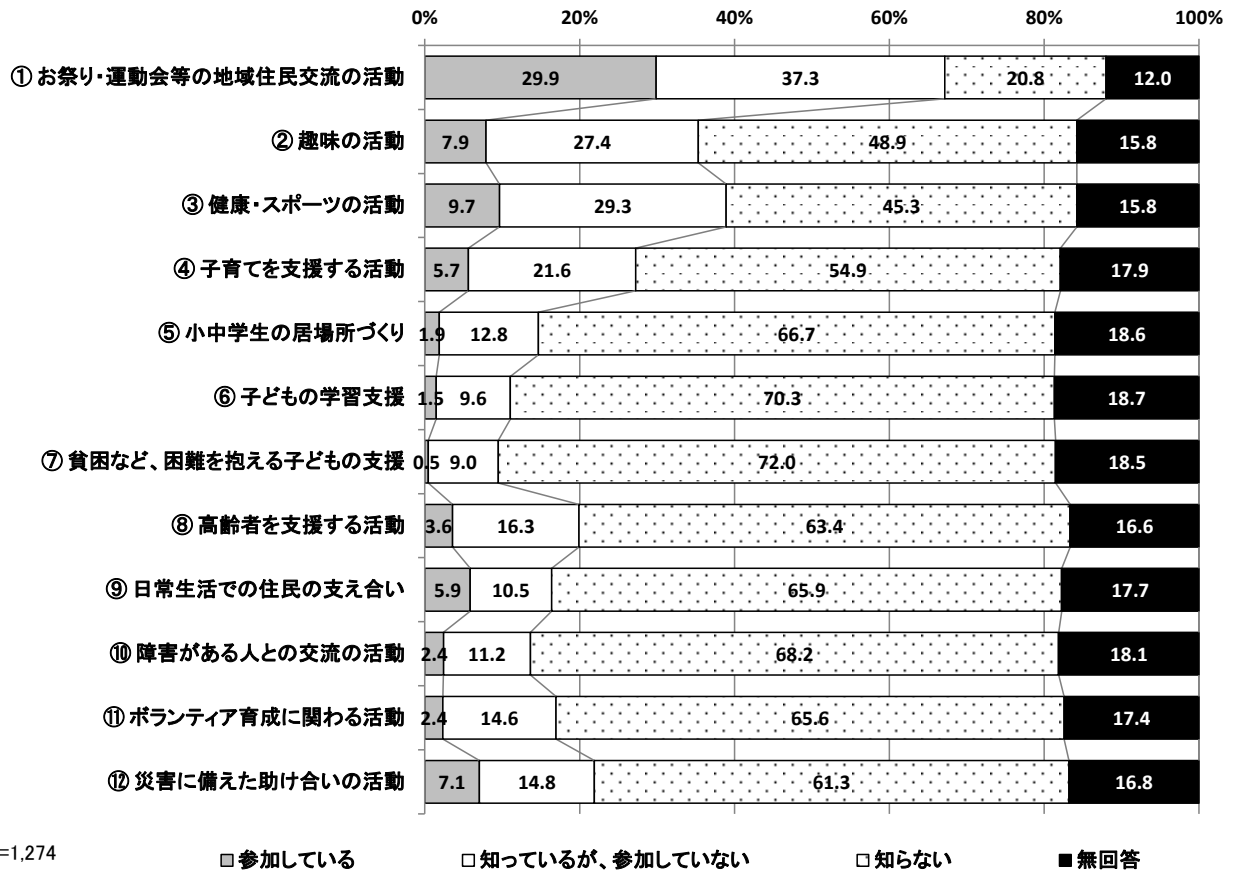
大分類	小計	意見内容	意見数	大分類	小計	意見内容	意見数		
設置場所の増加	352	駅に設置	118	情報発信	48	利用方法をわかりやすく	15		
		ボックスを増やす	86			文庫ボックスの利用実績（リユース状況）を公開	11		
		スーパー・ショッピングセンターに設置	28			メリット・デメリットを明確に情報提供	8		
		身近な場所に欲しい	24			在庫本の情報公開（ネット等）	8		
		地区センターに設置	20	希望の本の情報収集とその公開	5	利用方法	42	利用者の声を広報	1
		人目につく立ち寄りやすい場所に設置	17	引き取りサービス	10				
		コンビニに設置	10	利便性の向上	8				
		公共施設に設置	8	本が少ないので増やす	7				
		図書館に設置	6	幅広いジャンルを回収	5				
		子ども達が集まる場所	4	文庫ボックスに回収する本の種類を詳しく明記	3				
		学校（小中高大に設置）	4	洒落た目立つ箱に変える	3				
		地域ケアプラザに設置	4	大きな看板を出し目立たせる	2				
		図書館ポストと一緒に設置	4	選別職員を（管理人）を置く	2				
		郵便局に設置	4	1ヶ月に1度又は、3ヶ月に1度、回収日を設定	1				
		小学校の古紙回収時を利用	3	1人の利用数の制限	1				
		自治体ごとに設置	3	管理	25			本の清潔・品質の管理が必要	14
		公民館・自治会館	2			本の管理が必要	5		
		銀行に設置	2			本のタイトルリストをつくる	4		
		本屋に設置	1			選びやすい陳列	2		
		区役所の各相談窓口	1	付加価値	20	特典があると良い	7		
コミュニティハウスに設置	1	ポイント制	4						
行政サービスコーナーに設置	1	商店街で利用できる金券等（地域通貨等）	3						
月1回地域で回収	1	1冊100円などで回収	2						
PR	222	周知・宣伝する	141			バスケットに還元	1		
		場所の周知	16			粗大ごみの料金割引特典	1		
		広報誌に載せる	13			青葉区の施設利用券発行	1		
		認知度を上げる	12			寄付金控除等優遇策	1		
		自治会（回覧板）にチラシを配布	10			その他	12	読書活動の推進（皆さんに本を読んでもらいたい）	3
		ポスターで知らせる	8					リサイクル店とのタイアップ	1
		小中学校等に教える	5	地区センターで本の寄贈を呼びかける	1				
		看板・掲示板で知らせる	4	駅の傍に図書館がない	1				
		駅構内やバスで宣伝	3	図書館に新刊本がない	1				
		区内の店で提示	2	図書館を増やして欲しい	1				
		設置場所のマップ配布	2	本は買う主義	1				
		キャッチフレーズをつくる	1	時々区役所で古書即売会を開催	1				
		テレビラジオで宣伝	1	需要のないサービスなので不要	1				
		折込広告等の告知	1	ゴミ収集に出している	1				
		町内会・老人会で宣伝	1	良い点	8			現状で可	2
		バスのつり革広告	1					蔵書を処分したいので利用したい	2
		本屋で宣伝	1			エコ活動になる	1		
		遠い・不便・面倒	26			とても良い取組	1		
区役所	53	区役所に行く機会があまりない	11	欲しかった本を見つけ嬉しかった	1				
		重い	7	周囲の本好きの方に教えている	1				
		区役所で土日も回収	5	（回答者数：535人）意見数：782件					
		区役所に行く機会を増やす方策を考える（イベントなど）	2						
		区役所の駐車施設の充実	2						

## 10. 社会貢献活動について

### 地域の社会貢献活動への参加、参加意向（問 35）

#### <参加実績>

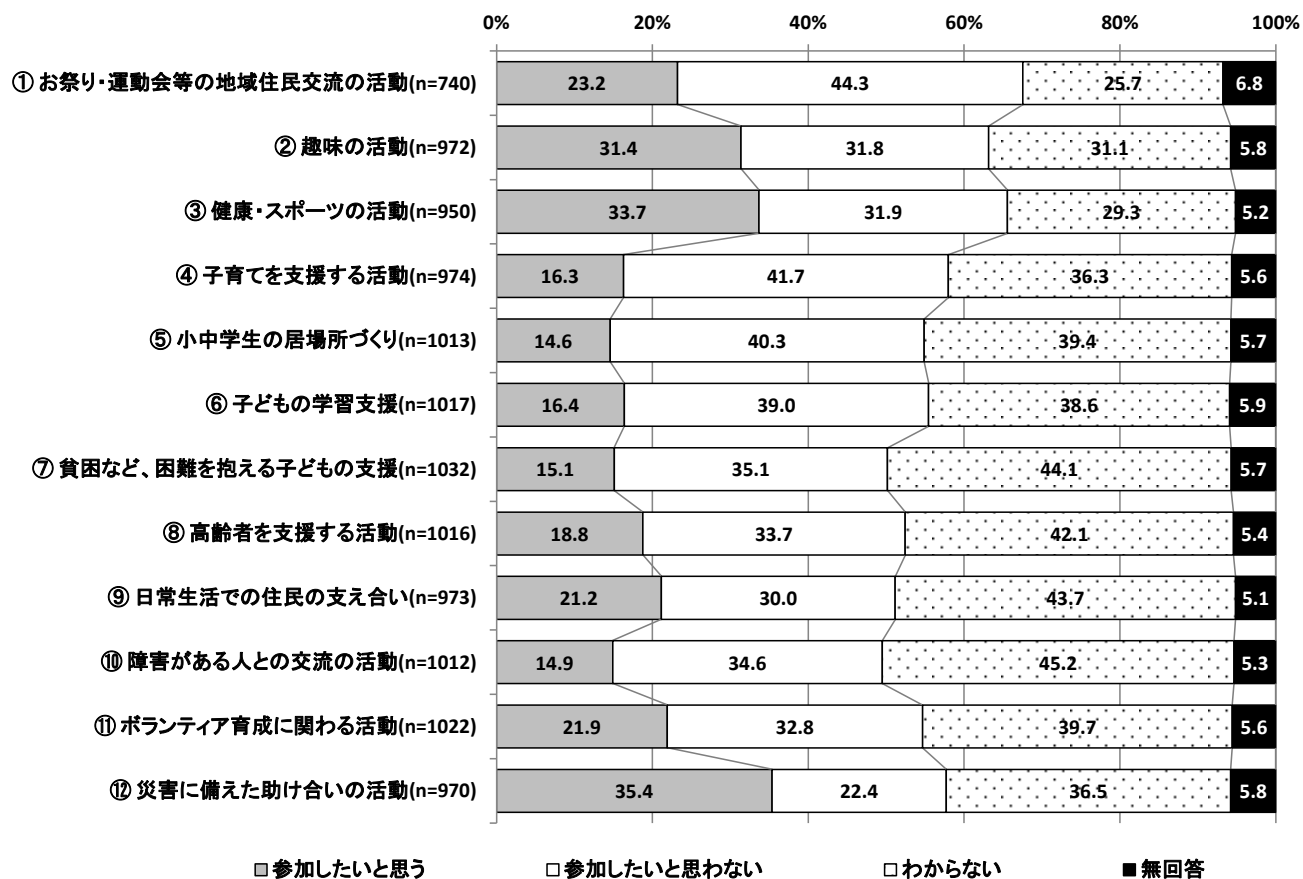
「お祭り・運動会等の地域住民交流の活動」が約3割と最も高い。





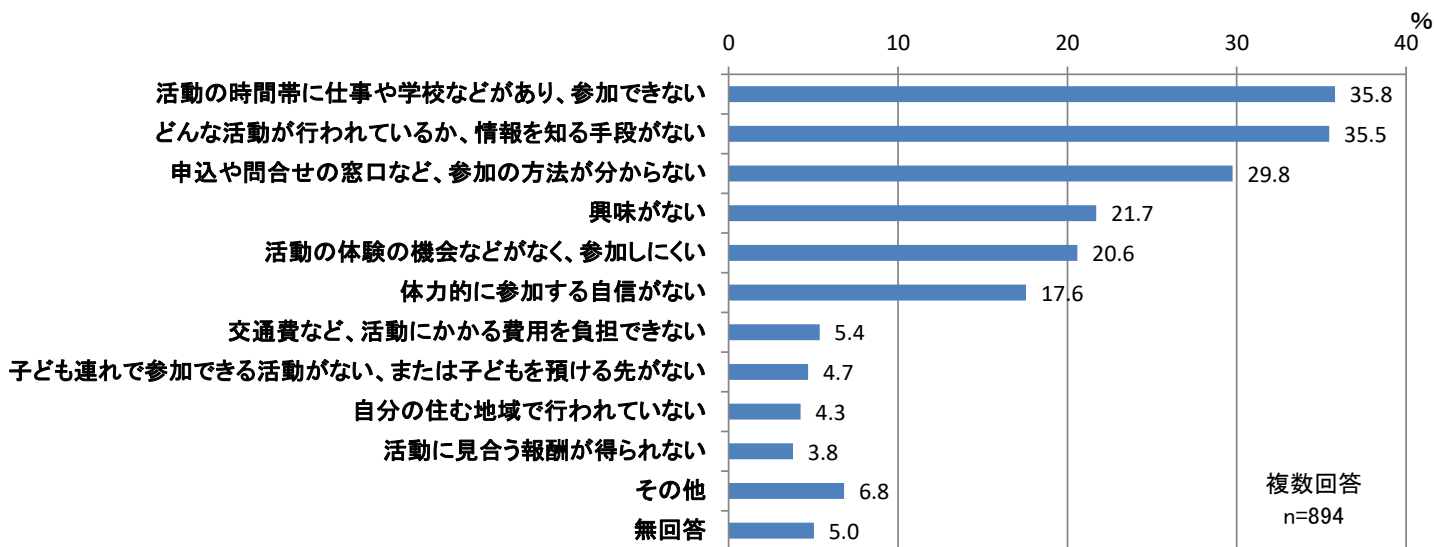
< 参加希望 >

「災害に備えた助け合いの活動」「健康・スポーツの活動」「趣味の活動」が上位3位で、いずれも3割を超えている。



## 参加していない理由（問 35-1）

「活動の時間帯に仕事や学校などがあり、参加できない」「どんな活動が行われているか、情報を知る手段がない」「申込や問合せの窓口など、参加の方法が分からない」が上位3位で、約3割の人が回答

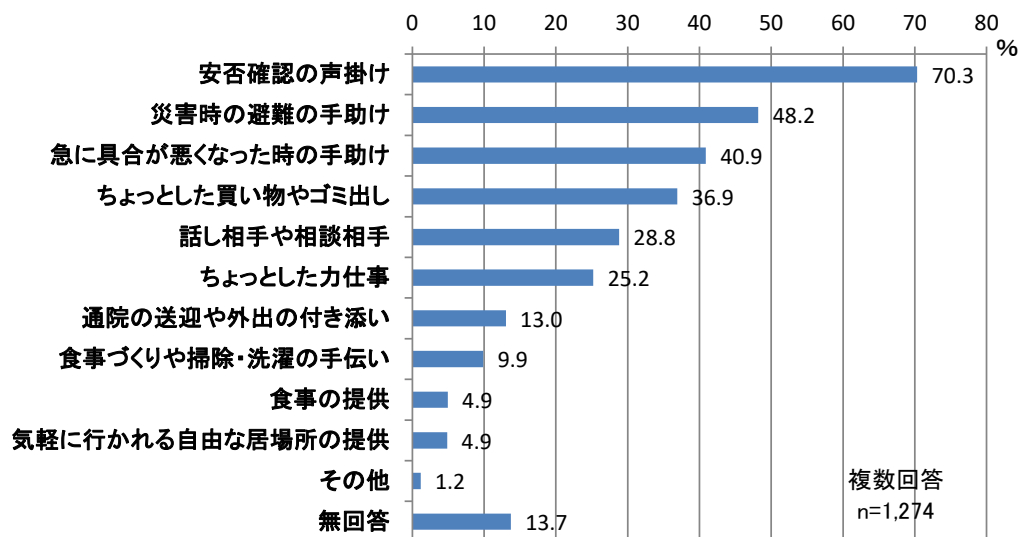


## 11. 地域の福祉保健活動について

### 手助けができること、手助けしてもらいたいこと（問 36）

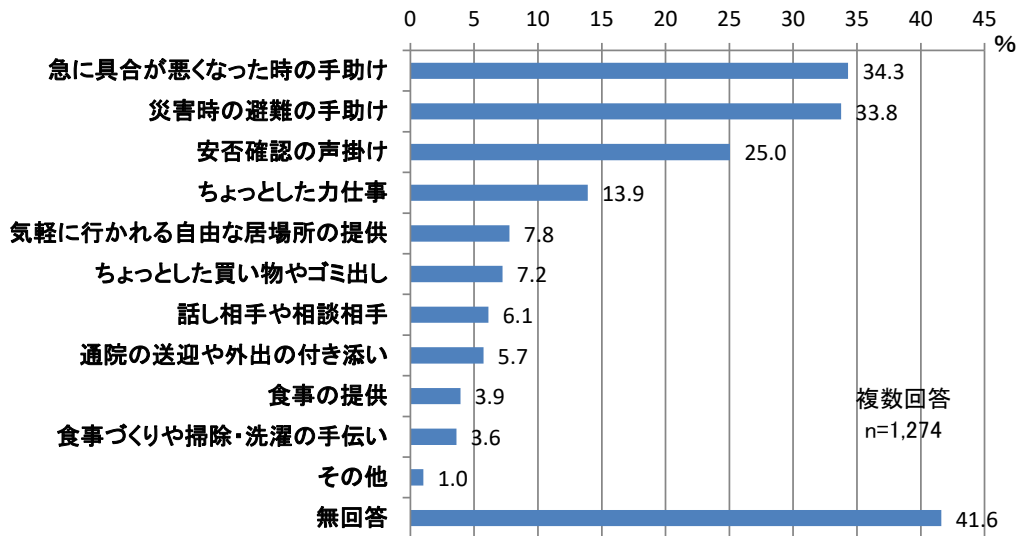
#### <手助けできること>

7割の人が「安否確認の声掛け」ができると回答している。



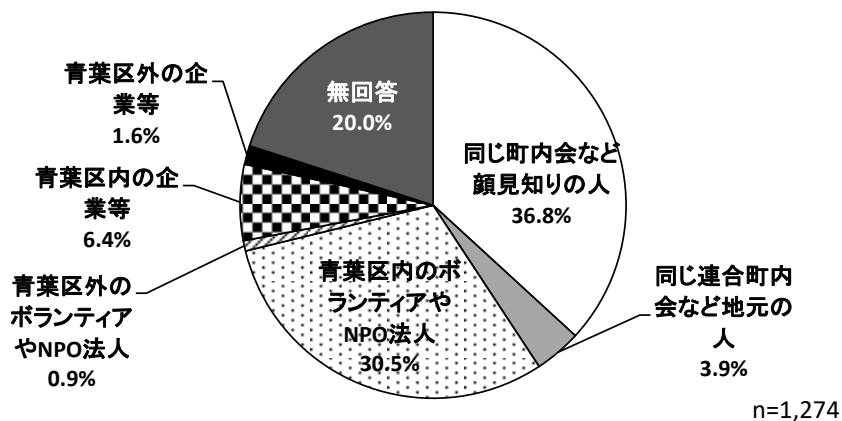
## <手助けしてほしいこと>

「急に具合が悪くなった時の手助け」「災害時の避難の手助け」「安否確認の声掛け」が上位3位。



## どのような方から手助けを受けたいか。(問 36-1)

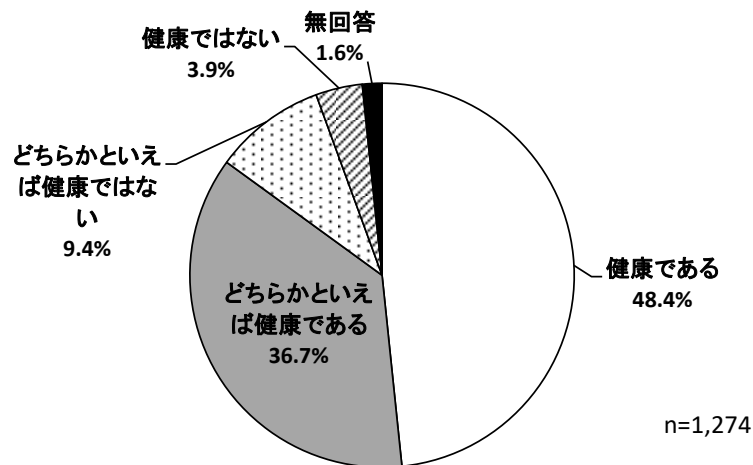
「同じ町内会など顔見知りの人」「青葉区内のボランティアやNPO法人」がともに3割以上。



## 12. 健康について

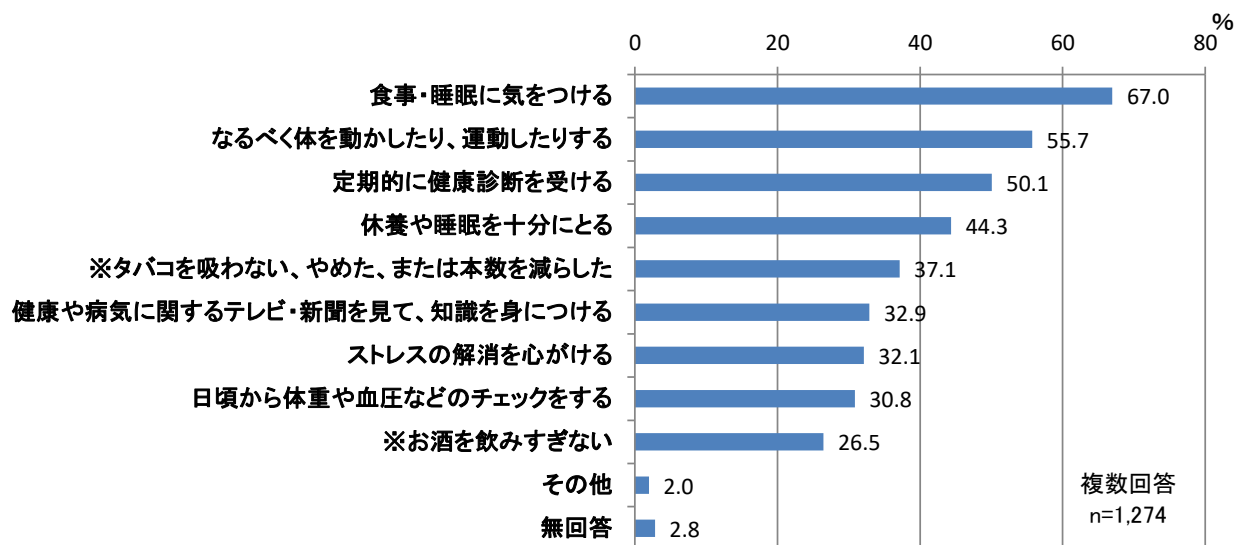
### 最近の健康状態（問 37）

「健康である」「どちらかといえば健康である」を合わせて 8 割の人が健康であると回答している。



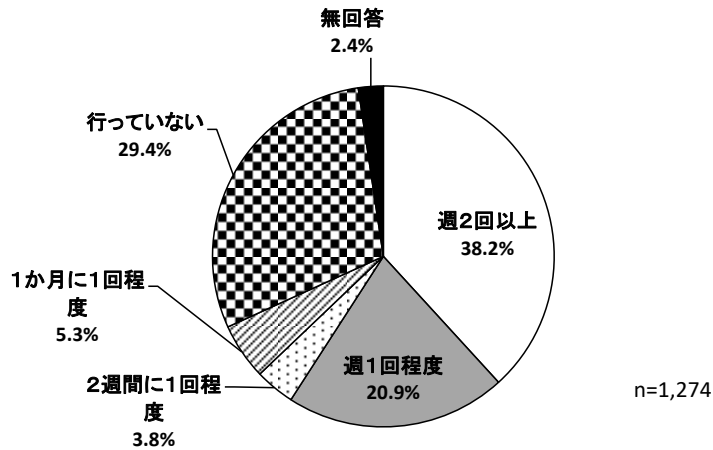
### 健康のために気をつけていること（問 38）

7 割弱の人が「食事・睡眠に気をつける」、半数の人が「なるべく体を動かしたり、運動したりする」「定期的に健康診断を受ける」と回答している。



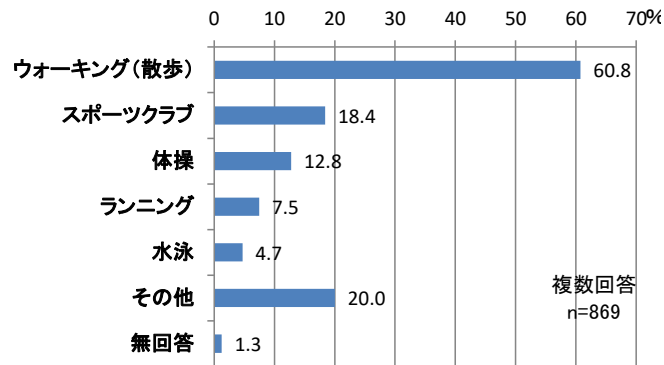
### 1回30分以上の運動の実施頻度（問39）

「週2回以上」「週1回程度」を合わせると、全体の6割弱が週1回以上の運動をしている。



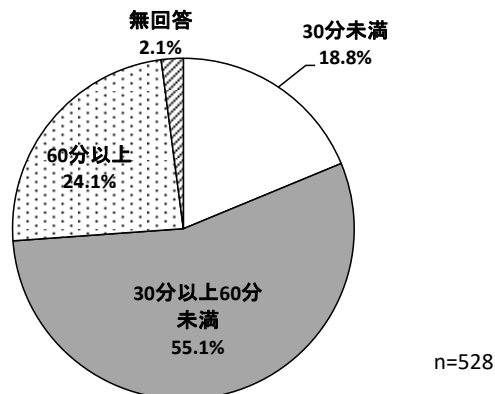
### 行っている運動（問39-1記述）

6割の人が「ウォーキング（散歩）」をしている。



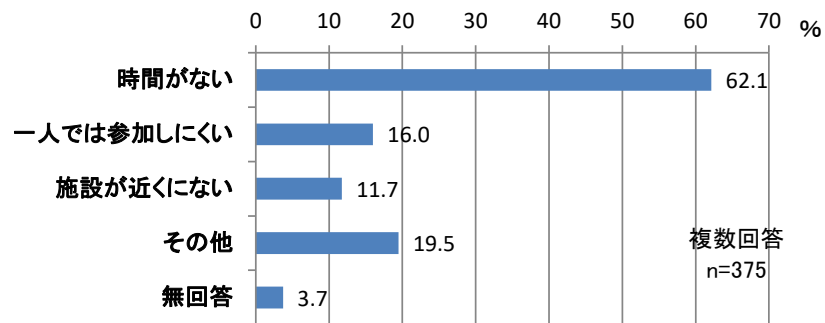
### 1日のウォーキング時間（問39-2）

半数の人が「30分以上60分未満」と回答。



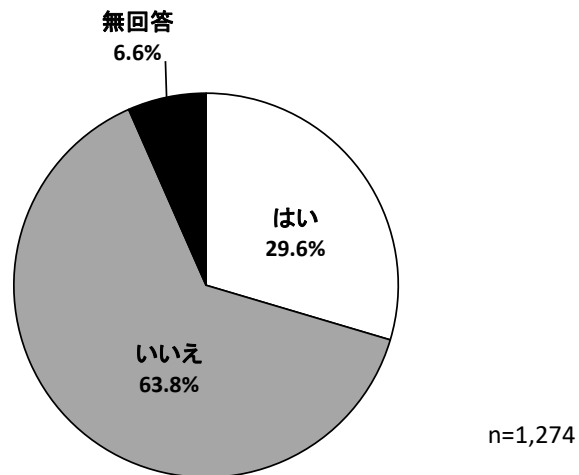
### 運動を行っていない理由（問 39-3）

6割の人が「時間がない」と回答。



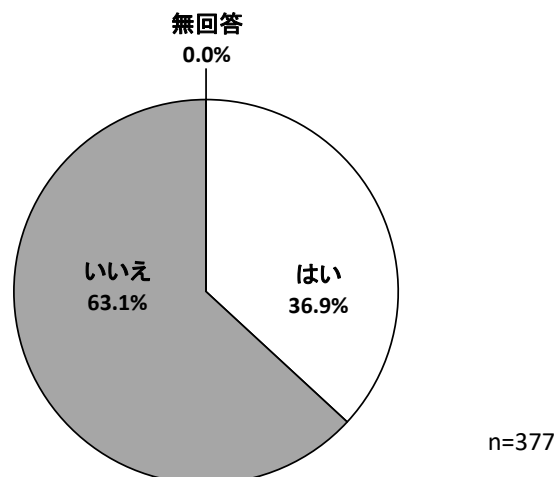
### よこはまウォーキングポイント事業の認知度（問 40）

「いいえ(知らない)」が6割で「はい(知っている)」を上回っている。



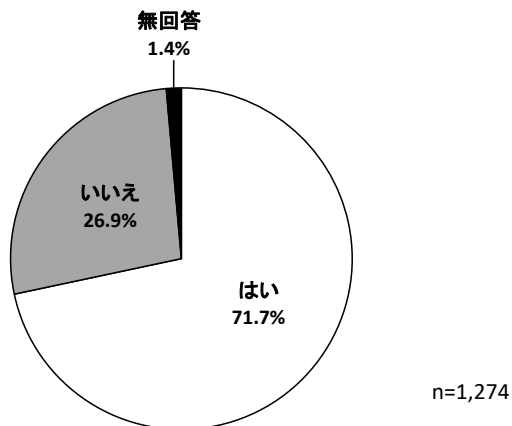
### 対象年齢の拡大や事業所単位の参加ができることになったことの認知度（問 40-1）

「いいえ(知らない)」が6割で「はい(知っている)」を上回っている。



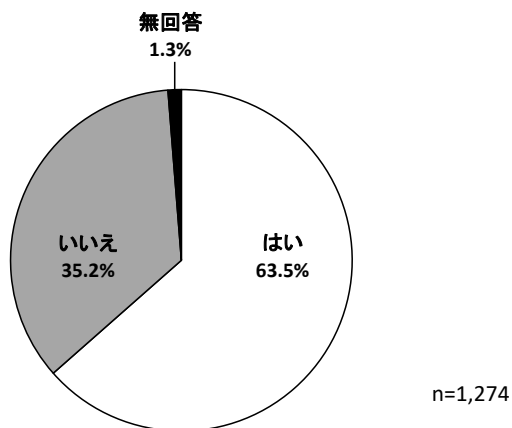
### 野菜たっぷり（350g/日）の食事への心がけ（問41）

7割の人が「はい(心がけている)」と回答。



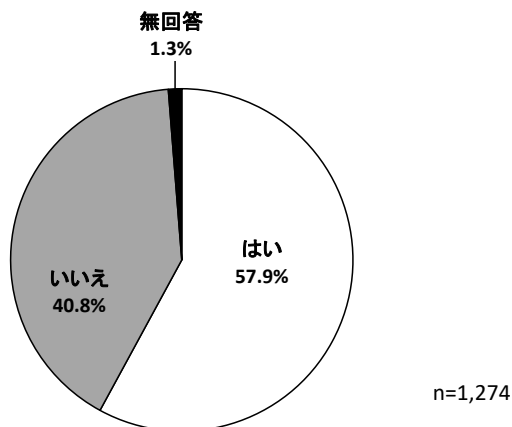
### 塩分控えめ（8g/日）の食事への心がけ（問42）

6割の人が「はい(心がけている)」と回答。



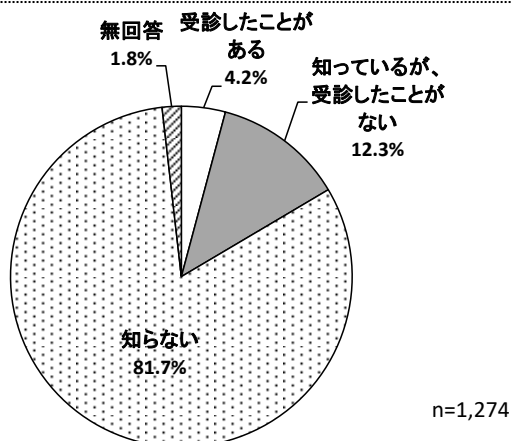
### 定期的な歯科検診の有無（問43）

6割弱の人が「はい(行っている)」と回答。



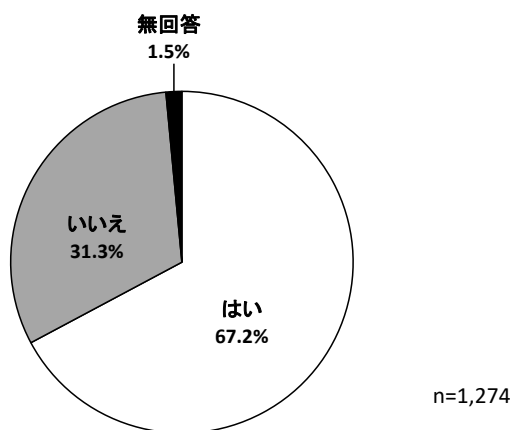
### 歯周疾患検診の認知度（問 44）

8 割が認知していない。



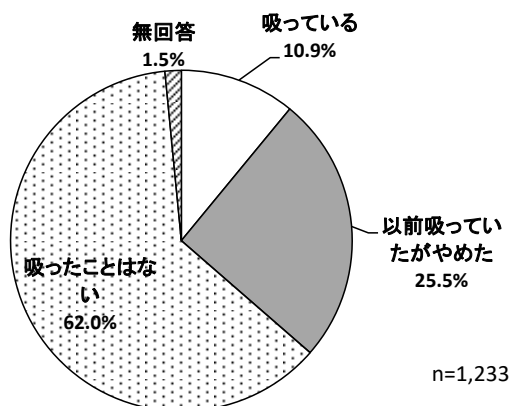
### 歯周病が糖尿病・心疾患などの全身疾患と関連があることの認知度（問 45）

7 割弱が認知している。



### 喫煙率（問 46）

6 割の人が「吸ったことはない」としており、「以前吸っていたがやめた」を含めると 9 割弱が非喫煙者である。

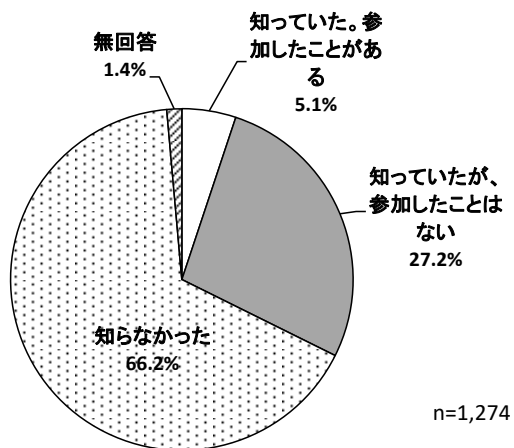




### 13. 介護予防について

区役所や地域ケアプラザ（包括支援センター）の介護予防講座やプログラムを開催していることの認知度（問 47）

7割弱の人が「知らなかった」としており、認知度は3割。



平成 28 年度 青葉区区民意識調査 調査結果 報告書 概要版

発行日 平成 28 年 12 月

発行 青葉区 総務部 区政推進課 企画調整係

〒225-0024 横浜市青葉区市ケ尾町 31 番地 4

TEL 045 (978) 2216

FAX 045 (978) 2410